

【 お客さま本位の業務運営 】

ぶくおかフィナンシャルグループにおける取組状況

－ 2022年度 －

当社グループでは、ブランドスローガン「あなたのいちばんに。」を実現するため、お客さま一人ひとりに最適な商品・サービスをご提供する「お客さま本位の業務運営」に從來から一貫して取り組んでおります。

金融商品に係る業務運営においては、お客さまの安定的な資産形成を後押しするためのグループ共通の基本的な考え方及び具体的な取組方針として、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定し、本方針に基づき福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・FFG証券・FFGほけんサービスにおいて「お客さま本位の業務運営」に取り組んでおります。

<お客さま本位の業務運営に関する取組方針>

- ① お客さまの最善の利益の追求
- ② お客さまに相応しい資産運用サービスの提供
- ③ 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
- ④ 重要な情報の分かりやすい提供、手数料等の明確化
- ⑤ 利益相反の適切な管理



<「お客さまの最善の利益」の考え方>

銀行

証券

«グループ経営理念とお客さまの最善の利益»

- FFGは、グループ経営理念として、「高い感受性と失敗を恐れない行動力を持つ」「未来志向で高品質を追求する」「人々の最良な選択を後押しする」ことを掲げており、「お客さまの最善の利益を追求」することこそ、経営理念にある「人々の最良な選択を後押しする」こと、ひいてはブランドスローガンである「あなたのいちばんに。」につながるものと考えます。
- お客さまの最善の利益を追求するために、お客さまのお役に立ちたいという信念を持ち、まずはお客さまをよく知り、中・長期的なゴール（ありたい姿・目標・夢）やニーズ、課題や不安を共有します。そのうえで、それらの実現や解決に最適と考えるソリューションをご提供し、継続的にゴールやニーズの変化・到達度を共有し、必要な見直しを図ることで、それらゴールやニーズの実現に貢献します。
- そのために、近い将来から数十年後までを見すえたお客さまそれぞれの目的や時間を軸に、「ためる・ふやす」だけではなく、「そなえる・豊かな生活のためにつかう」という幅広い観点からお客さまをよく知るというプロセスを繰り返します。

<「FFGの企業文化としての定着」の取組み>

銀行

証券

□ ブランドブックの活用

- ブランドブックとは、経営理念の理解浸透とグループブランド（自社）に対する従業員の意識を共有するための『FFGブランド解説本』です。
- この小冊子ではFFGのブランドスローガン「あなたのいちばんに。」や3つのコアバリュー「いちばん身近な銀行」「いちばん頼れる銀行」「いちばん先に行く銀行」を実践するための行動を示しております。
- 各種研修時や日々の朝礼・終礼時等に、本冊子を用いて内容の確認や読み合わせを行っております。



□ FC営業ガイドラインの活用

銀行

- お客さまの資産形成にかかる業務を担う担当者が、FC（フィナンシャル・コンサルタント）です。
- このFCを含め、お客さまと対話する全ての従業員が「お客さま本位の営業」を実践するための指針として「FC営業ガイドライン」を活用しています。（2021年4月策定、2021年9月改訂）
- FC営業ガイドラインの浸透を図るため、FC関連研修にて「FFGにおけるお客さま本位の営業」の理念共有および事例に基づく解説を行っています。また、営業現場においても部店長による説明や動画の視聴、研修・会議での読み合わせ等を通じ浸透を図っております。

FC営業ガイドライン	
1. FC営業ガイドラインの位置づけ	<small>本ガイドラインにおけるFC営業に関する者はFC担当者のみならず、 本ガイドラインに準ずる本部門員も含まれて個人の責任と権利を持ち、 対応する全ての顧客がFC営業に関与するものとします。 本ガイドラインを全員で理解し、自らのいちばんに、共働きで実践 していきます。</small>
2. FC営業に関わる者の役割と心構え	
3. コア商売の考え方	
4. お客さま本位の営業における「お金の色分け」の重要性	
5-1. 「お金の色分け」の考え方	
5-2. 「お金の色分け」～目的・価値軸～	
6. 「お金の色分け」共通基盤・サービスの構築	
7. 金融商品が持つ4つの性質	
8-1. 各金融商品の特徴 ～特徴が明確な商品～	
8-2. 各金融商品の特徴 ～特徴が明確な商品～	
9-1. 「お金の色分け」共通基盤・サービスの構築 ～コア商売の最適な働き場所～	
9-2. 「成長を目指すコア商売」の働き場所 ～投資信託～	
9-3. 「保障を得るコア商売」の働き場所 ～特約保険～	
10-1. フォローアップの重要性	
10-2. 顧客コンタクトとフォローアップ	

□ 従業員向け研修の実施

銀行

証券

- 各研修において、「あなたのいちばんに。」や「お客さま本位」についての考え方、およびそれらを踏まえた日々の営業活動のあり方を周知し、常に公明正大かつ誠実な姿勢と高い職業倫理を持ち、お客さまの最善の利益を追求する営業を実践しております。
- 具体的には経営理念を記した「ブランドブック」や、それを踏まえた具体的な行動の指針となる「FC営業ガイドライン」の理解を深め、これらに沿って知識・スキルを身につけることで金融のプロフェッショナルとしての専門性を高め、日々の業務に取り組んでおります。
- 集合研修だけでなく、オンライン研修も活用しながら「業務経験・スキル・役職」別、あるいは「商品・営業プロセス」別など、当グループの現状にフィットした研修プログラムを実施しております。
- また、これらの取り組みが営業現場で有効に機能し、「お客さま本位の営業」を実践していくため、営業現場で担当者を支援するエリアマネージャーを配置し、OJT等に取り組んでおります。

～ 研修、自己啓発プログラムの概要 ～

研修	<ul style="list-style-type: none">● 業務経験や階層に応じた研修（FC基礎やFCスキルアップ、FC管理者研修等）● 商品・サービス、テーマ等に応じた研修
自己啓発	<ul style="list-style-type: none">● 土曜セミナー、平日業務終了後セミナー、平日勉強会（平日業務前開催）、動画配信等

<「お客さまの最善の利益」を追求する行動の取組み>

銀行

- FFGではお客さまの最善の利益を追求する行動として「お客さまに相応しい資産運用サービスの提供」及び「お客さまに相応しい保障サービスの提供」に注力しております。

«お客さまに相応しい資産運用サービスの提供» ※詳細はP6～P13参照

- (1) 長期国際分散投資をベースとした資産運用提案
- (2) 長期の積立投資をベースとした資産形成提案

«お客さまに相応しい保障サービスの提供» ※詳細はP14～P16参照

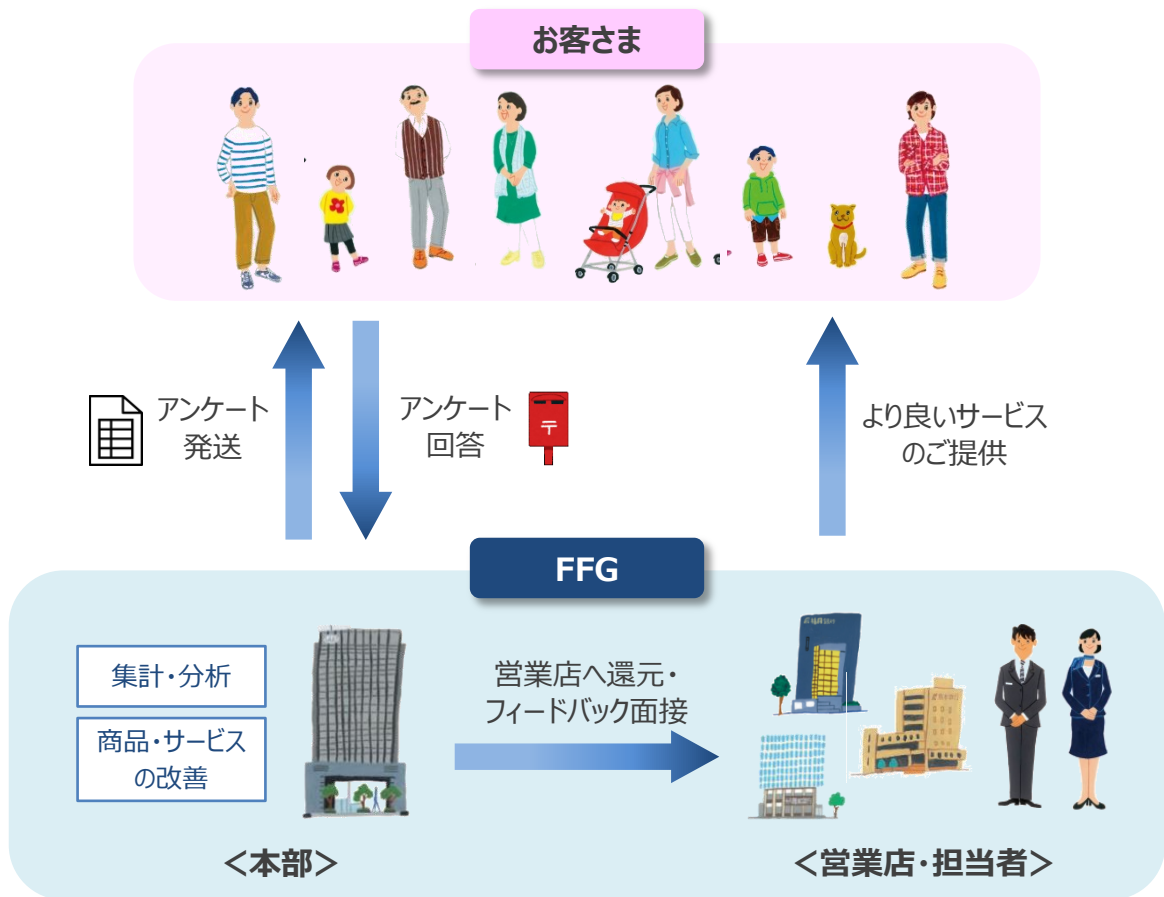
～お客さまアンケートの実施～

- FFGでは、お客さまに対してより納得性が高く、ニーズに沿ったご提案を行うために、お客さまからの評価・声を直接いただく「お客さまアンケート（NPS®調査）」を実施しております。
- いただいた声につきましては、本部内での分析と共有はもちろん、営業店への還元から各担当者へのフィードバックまで行う仕組みを整えております。
- 今後も、お客さまから更なる信頼をいただけるよう、お客さまの声をもとにした改善を重ねてまいります。

NPS®
とは

- 「他者への推奨意向」を測ることで、お客さまのロイヤルティを測定する指標
- 「家族や友人に薦める可能性はどのくらいありますか？」という質問に対して0～10点の11段階で回答したデータを推奨者（9～10点）、中立者（7～8点）、批判者（0～6点）の3グループに分類し、推奨者の割合から批判者の割合を差し引いた数値

～「お客さまアンケート」の流れ～



～ アンケートの質問内容（一部）～

◆ ニーズに即したご提案に向けて

担当者による日頃のヒアリングに加え、アンケートでもお客さまの「今後検討したいこと、ご興味があること」等をお聞きし、ニーズ把握を行っております。

◆ お客さま満足度の向上に向けて

担当者の「信頼感・安心感」や「お客さまの意向、利益を重視する姿勢」等の満足度をお聞きし、サービス品質向上の参考としています。

<最善の商品の選定の取組み>

銀行

証券

ロ 商品選定プロセス

- FFGでは、商品採用時の客観性を確保し公正・中立な立場で商品の選定を行うため、外部評価機関による商品評価を取得しております。
- また、商品企画部署で取り扱い商品の合理的根拠を検証し、商品リスクや販売リスク等、総合的な観点から管理部門において、その妥当性を確認しております。

～商品採用・取扱中止の実績（2022年度）～

銀行

時期	採用	中止（※店頭での取扱を中止した商品を含む）
2022/04	【投信】キャピタル世界株式ファンド（DC年金つみたて専用）	
2022/05	【生保】プレミアジャーニー	
2022/08	【投信】つみたて米国株式（S&P500） 【投信】eMAXIS S&P500インデックス 【生保】終身医療保険プレミアムZ	【投信】ブラックロック・グローバル・バランス・ファンド（償還） <全チャネル取扱中止商品> 【投信】野村リアルグロス・オープン 【投信】野村テンプレトン・トータル・リターン・Dコース 【投信】グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型） 【投信】イーストストスプリング・グローイング・アジア株式オープン 【投信】ドイチェ世界コーポレート・ハイブリット証券（年4回）Aコース 【投信】ドイチェ世界コーポレート・ハイブリット証券（年4回）Bコース <店頭のみ取扱中止商品> 【投信】マニュライフ・新グローバル配当株ファンド（毎月分配型） 【投信】米国割安株ファンド 【投信】イーストスプリング・アジア・オセアニア好配当株式オープン（毎月分配型）
2022/09	【生保】ネオdeがん治療 【生保】笑顔をまもる認知症保険	【生保】Believe 【生保】虹色きつぷ
2022/12	【生保】夢みるこどもの学資保険 【生保】つみたてねんきん2	【投信】DIAMIマーキング債券ファンド（償還）
2023/01	【生保】あしたも充実	
2023/03	<販売再開> 【投信】フィデリティ・グローバル・ハイ・イールド・ファンド（資産成長型/毎月分配型） <積立での販売再開> 【投信】トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	【生保】年金新時代 【生保】プレミアベスト 【生保】家計保障定期保険NEO 【生保】あんしん就業不能保障保険

証券

時期	採用	中止（※店頭での取扱を中止した商品を含む）
2022/04	ダブル・ブレイン・コア(スタンダード/ブル)	
2022/05	シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド（資産成長型/予想分配金提示型）	
2022/07		オーストラリア高配当株プレミアム(毎月分配型)(償還)
2022/11	グローバルESGバランスファンド(為替ヘッジあり/なし)年2回決算型 フィデリティ・世界割安成長株投信Aコース(為替ヘッジあり) フィデリティ・世界割安成長株投信Bコース(為替ヘッジなし) フィデリティ・世界割安成長株投信Cコース(毎月決算・為替ヘッジあり) フィデリティ・世界割安成長株投信Dコース(毎月決算・為替ヘッジなし)	
2023/02		HSBCメキシコ株式オープン(償還)

□ 運用開始後の商品モニタリング

銀行

証券

1. モニタリングの目的
お客さまに対するフォローの必要性、商品取扱いの見直しを検討します。
2. モニタリング項目
投信：商品リスク（流動性、継続性（資産規模、運用実績））等
保険：引受保険会社の信用リスク等
3. 方法・頻度
投信：①基準価額が大幅に下落した商品につき下落理由を調査
②商品の償還等の情報確認 等
保険：複数指標（外部格付、ソルベンシー・マージン比率等）のモニタリング 等

上記モニタリングを月次で実施し、投信については四半期毎に外部機関による定量評価を行います。

□ 仕組債の取扱い

銀行

証券

- 仕組債については、販売できる商品やご購入いただけるお客さまが一部に限られること等を踏まえ、FFGでは現在お取扱いしておりません。

＜お客さまに相応しい資産運用サービスの考え方＞

銀行

証券

- お客さまとの対話を繰り返しながら、近い将来から数十年後のライフステージやライフイベントを見据えた真のニーズ・解決すべき課題を共有したうえで、お客さまがお持ちの資産を目的に合わせて色分け（お金の色分け）します。
- 「お金の色分け」の結果、「ためる・ふやす」役割の資産に対して、最適な資産運用サービスを最適なタイミングでご提供するとともに、提供後もライフステージを通じてフォローアップ・サポートし続けることで、大切な資産を守り、育て、お客さまの豊かな未来を実現する“人生の伴走者”を目指します。

＜FFGでご提供する資産運用サービス＞

（1）長期国際分散投資をベースとした資産運用提案

□「投信のパレット」の申込者数と残高の推移

銀行

- 長期資産形成に適したサービスである「投信のパレット」について、2023年3月末現在の3行合算で申込者は**52,620名**と多くのお客さまにお申し込みいただき、残高も**2,743億円**（投資信託全体では**7,732億円**【詳細は30P参照】）となっています。
- 「投信のパレット」をご利用いただいたお客さまからは、「優秀な投資信託を組み合わせ、運用プランを自分で選べる点に魅力を感じる」や「定期的にフォローがあることに安心を感じる」というお声をいただき、大変好評いただいております。

投信のパレット

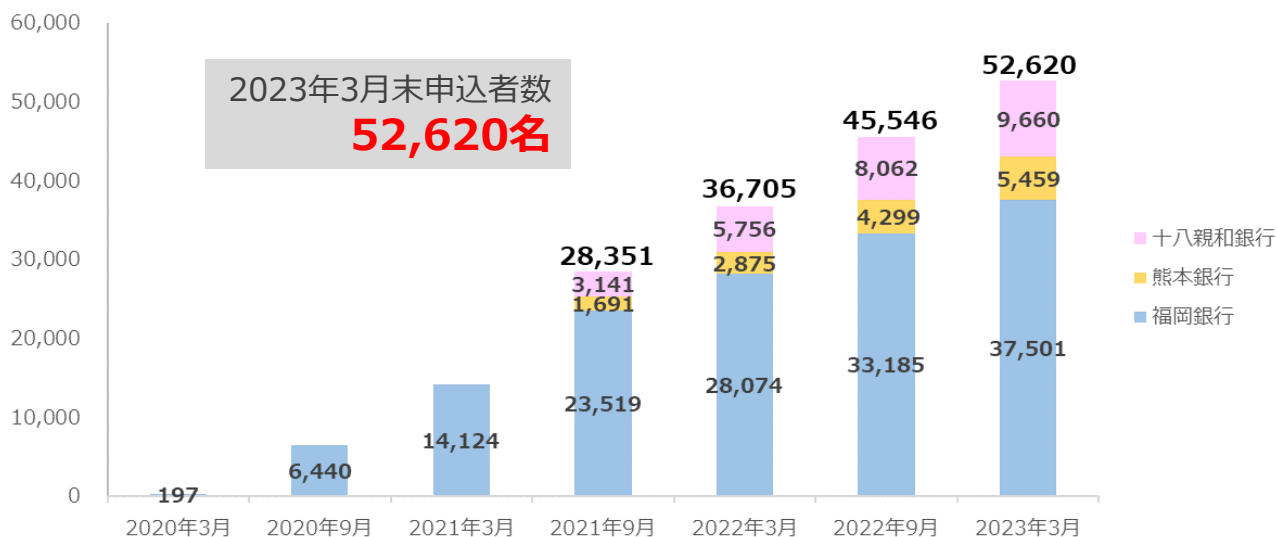
選ぶ、組合せる、育てる。資産づくりに「てあつさ」を。

投信のパレットとは

人生100年時代を見すえて、自分らしく豊かな人生を送るために、FFG独自のシステムを活用し、お客さまの長期にわたる資産づくりをサポートするサービスです。（FFG証券では取扱いしていません）

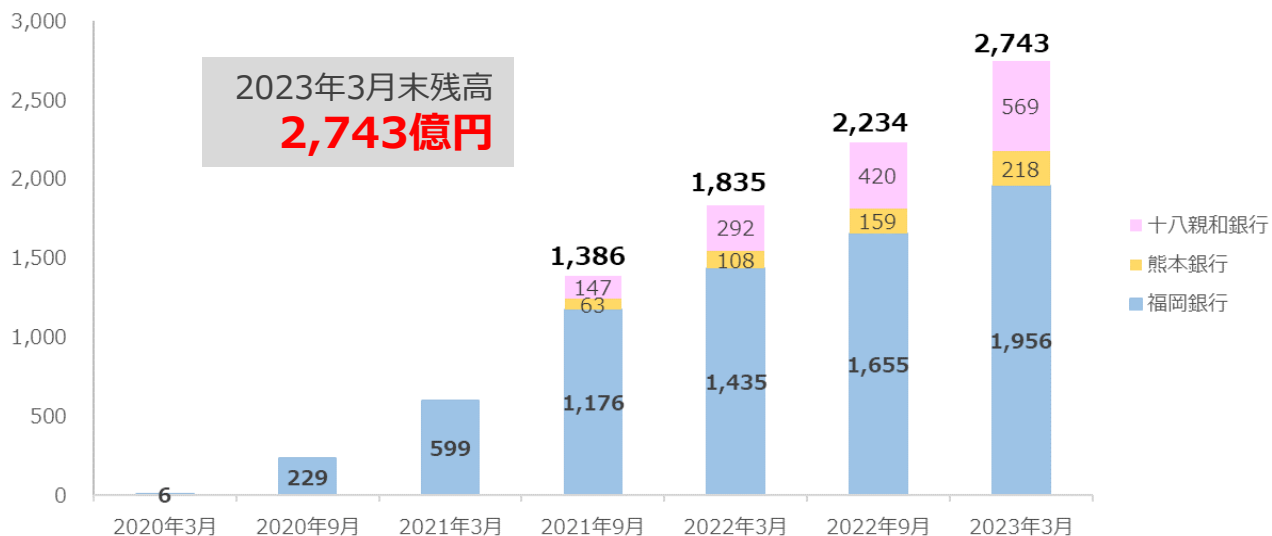
◆「投信のパレット」申込者数推移

（単位：名）



◆「投信のパレット」残高推移

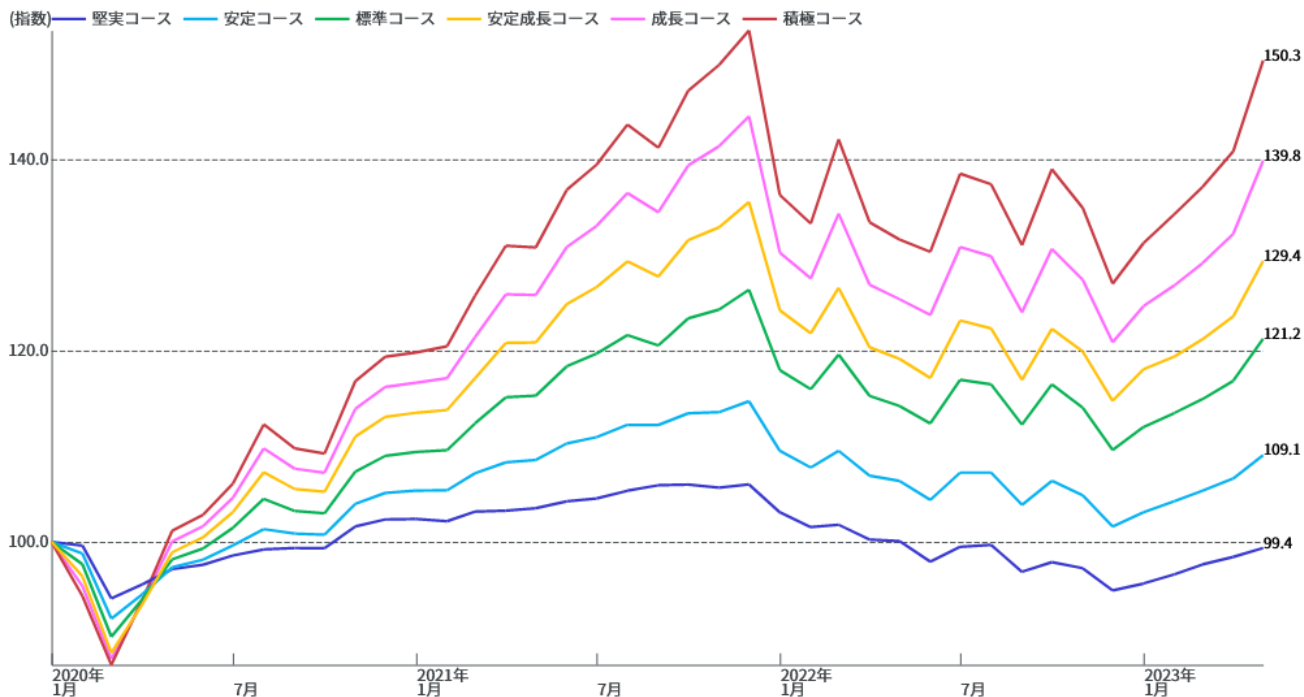
(単位：億円)



◆「投信のパレット」各コースの運用状況

銀行

～2020年1月末から2023年5月末までの各コースの運用状況（2020年1月末を100として指数化）～



(注) 上図は2020年1月末時点のデフォルト銘柄によるパレットベーシックプランで計算しています。

□「F-navi+」を活用した定量比較

銀行

- F-navi+では、国内の公募投資信託約4,800本をデータベース化しており、投資信託同士の運用実績等を定量的なデータで比較しながら検討いただくことが可能です。
- 定量的なデータを分析し比較での評価が高いことを前提に、定性的な評価を加え、将来にわたって高いパフォーマンスを出し続けることが予想されるファンドを選定します。お客さまに長期投資いただくポートフォリオを組成する商品として、それらをラインナップし、その判断に恣意性は一切入っており、中立・公正な立場からの商品選定を行っております。

【画面例】

基本情報	評価	ランキング	運用成果①	運用成果②	運用安定性①	運用安定性②	分配金の魅力	分配金の安定性	月報①	月報②	投資通貨	投資地域	人気	コスト	その他
[絞込] [絞込解除]		ファンド名	グループ	運用の成果 (単位/グループ総納数)	運用の成果 (長期) (単位/グループ総納数)	運用の安定性 (単位/グループ総納数)	分配金の魅力 (単位/グループ総納数)	分配金の安定性 (単位/グループ総納数)					コスト	人気	
<input type="checkbox"/>			国内株式-アクティブ	1/329	1/276	41/329	-/-	-/-					79/337	144/337	
<input type="checkbox"/>			国内株式-アクティブ	2/329	7/276	33/329	-/-	-/-					140/337	172/337	
<input type="checkbox"/>			国内株式-アクティブ	3/329	6/276	19/329	-/-	-/-					110/337	31/337	
<input type="checkbox"/>			国内株式-アクティブ	4/329	5/276	13/329	-/-	-/-					144/337	30/337	
<input type="checkbox"/>			国内株式-アクティブ	5/329	4/276	12/329	-/-	-/-					241/337	172/337	
<input type="checkbox"/>			国内株式-アクティブ	6/329	15/276	49/329	-/-	-/-					310/337	246/337	
<input type="checkbox"/>			国内株式-アクティブ	7/329	33/276	51/329	-/-	-/-					241/337	243/337	

□「定額換金受取サービス」を活用した資産寿命の延伸

銀行

- 運用を行いながら自分自身の為にも使いたいというお客さまには、「投信のパレット」のサービスの1つとして「定額換金受取サービス」をご案内しております。運用を行いながら計画的に取り崩しを行うことで、資産寿命を延伸させる効果が期待されます。

福岡銀行 | 投資信託

投信のパレット

パレットベーシックプランご利用のお客さま限定
定額換金受取サービス

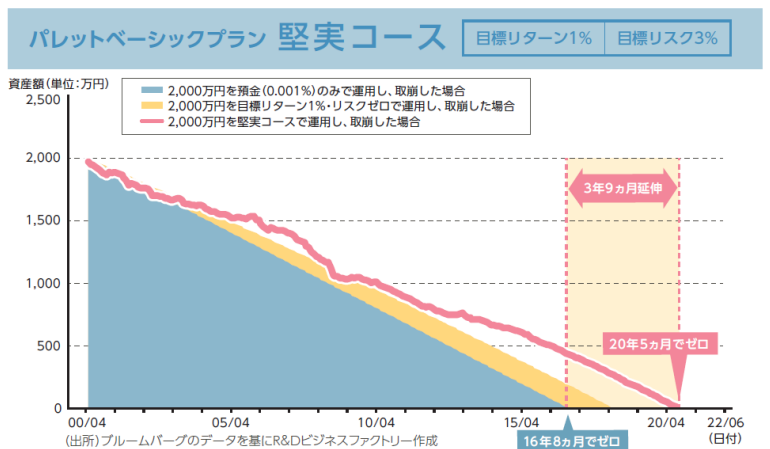
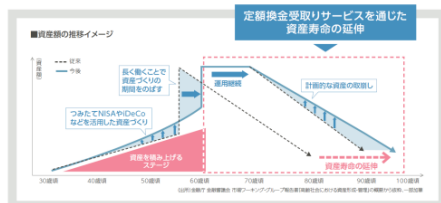
定額換金受取サービスとは

パレットベーシックプランで運用をされるお客さまが、運用で増やしながら定期的に一定金額をお受取りいただけるサービスです。

定額換金受取サービスを利用するメリット

- 運用を続けながら定期的に一定金額（定額）を受取ることができます。
- 預金を取崩すよりも、パレットベーシックプランの資産運用効果で、資産寿命をのばすことが期待できます。

〔人生100年時代〕「老後2000万円問題」などに対応し、豊かなセカンドライフを送るために、運用で増やしながらも一定金額を受け取っていくことで、年金の補完等をサポートします。



(2) 長期の積立投資をベースとした資産形成提案

銀行

証券

- お客さまの安定的な資産形成を後押しするため、積立投資信託による時間分散のご提案に注力しております。その結果、積立投資信託のご契約者数は増加しております。
- また、お客さまの「将来のゆたかな暮らしを実現したい」というニーズにお応えするため、長期資産形成に有効なNISA・つみたてNISAの推進にも注力しており、口座数・残高ともに増加しております。

◆ 積立投資信託の契約者数／月間振替金額の推移（百万円）

※月間振替金額は3月1日～3月末の振替金額

	福岡銀行			熊本銀行			十八親和銀行		
	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
契約者数（先）	65,871	89,734	91,799	25,687	33,951	33,596	54,399	69,864	72,810
月間振替金額	2,414	2,476	2,371	941	1,083	992	1,302	1,362	1,444
年間販売額に占める割合	17.4%	13.5%	18.5%	29.4%	22.2%	30.1%	23.8%	15.5%	22.9%
年間投資販売額	124,493	185,352	145,189	28,515	46,913	36,429	42,540	81,944	64,004
うち積立投信	21,640	25,041	26,868	8,369	10,407	10,981	10,116	12,729	14,708

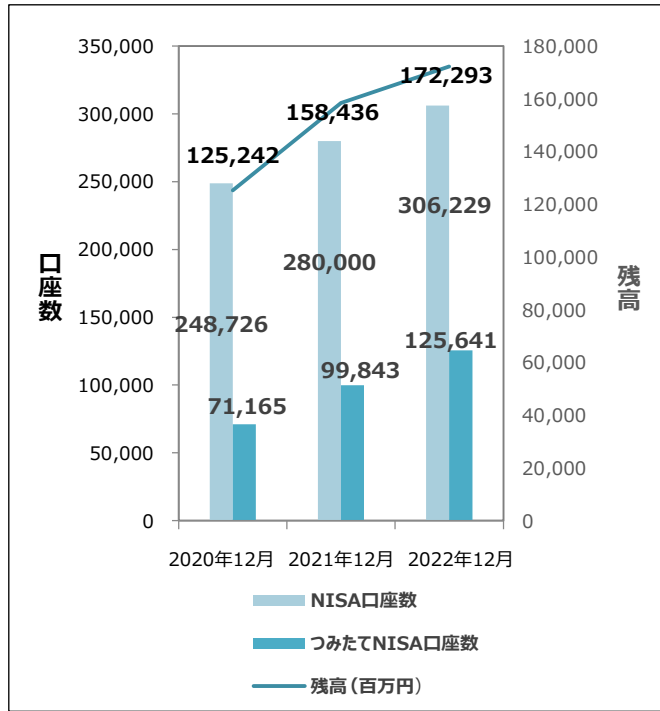
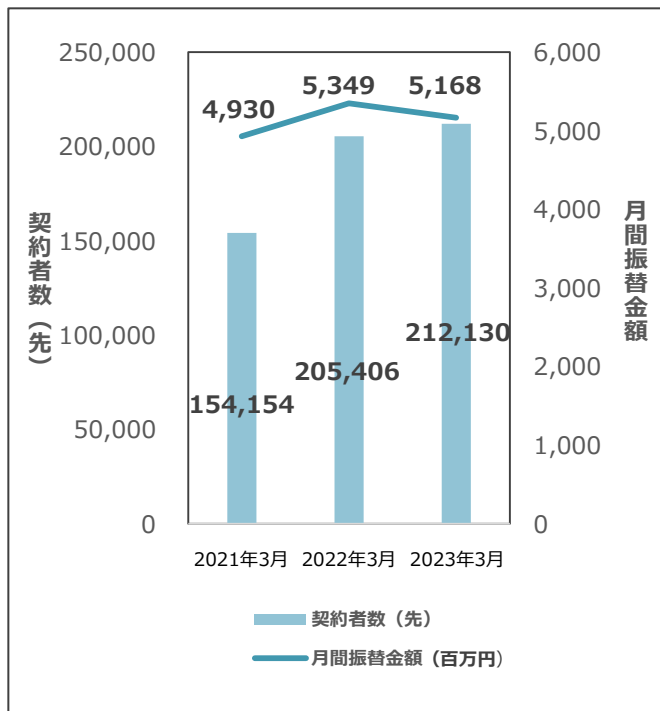
	FFG証券			FFG合計		
	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月
契約者数（先）	8,197	11,857	13,925	154,154	205,406	212,130
月間振替金額	273	428	361	4,930	5,349	5,168
年間販売額に占める割合	6.4%	12.1%	16.0%	18.3%	15.0%	20.8%
年間投資販売額	35,464	35,858	30,380	231,012	350,067	276,002
うち積立投信	2,253	4,347	4,846	42,378	52,524	57,403

◆ NISA口座数・残高（百万円）

	福岡銀行			熊本銀行			十八親和銀行		
	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月
口座数	121,174	137,699	151,013	35,086	40,151	43,677	73,739	82,952	92,124
残高有口座数	74,074	91,574	104,536	23,894	29,060	32,352	52,072	60,696	69,511
稼働率	61.1%	66.5%	69.2%	68.1%	72.4%	74.1%	70.6%	73.2%	75.5%
残高	63,417	82,592	89,499	16,746	21,376	23,343	31,020	38,048	41,758
うちつみたてNISA									
口座数	36,199	51,714	64,735	11,492	16,005	19,565	21,374	29,876	38,967
残高有口座数	32,765	47,370	59,554	10,596	14,721	17,988	19,730	27,413	35,944
残高	7,742	14,836	21,973	1,939	3,775	5,558	3,148	6,012	9,180

	FFG証券			FFG合計		
	2020年12月	2021年12月	2022年12月	2020年12月	2021年12月	2022年12月
口座数	18,727	19,198	19,415	248,726	280,000	306,229
残高有口座数	9,822	9,720	10,157	159,862	191,050	216,556
稼働率	52.4%	50.6%	52.3%	64.3%	68.2%	70.7%
残高	14,059	16,420	17,692	125,242	158,436	172,293
うちつみたてNISA						
口座数	2,100	2,248	2,374	71,165	99,843	125,641
残高有口座数	1,943	2,026	2,125	65,034	91,530	115,611
残高	457	893	1,196	13,285	25,516	37,907

◆ <FFG合計>積立投資信託の契約者数／月間振替金額の推移、NISA口座数・残高



<資産運用サービスを支える独自の取組み>

□ 商品ラインナップの整備

銀行

証券

- お客さまがグループ行にお持ちの資産残高やリスク資産保有有無（含む国債）、過去のご面談状況等を考慮し、お客さまの多様な資産形成・資産運用ニーズにお応えするため、常に中立性を保持しながら高品質の商品・サービスを厳選し、幅広い商品ラインナップを構築しております。

～投資信託ラインナップ（2023年3月末現在）～

銀行

証券

カテゴリ	福岡銀行		熊本銀行		十八親和銀行		FFG証券	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
国内債券型	9	2.6%	8	2.4%	9	2.5%	4	2.5%
国内株式型	49	14.4%	48	14.2%	49	13.5%	21	13.4%
国内リート型	7	2.1%	7	2.1%	8	2.2%	4	2.5%
国内バランス型	3	0.9%	2	0.6%	3	0.8%	0	0.0%
外国債券型	95	27.9%	94	27.8%	99	27.3%	36	22.9%
外国株式型	101	29.7%	101	29.9%	106	29.3%	50	31.8%
外国リート型	17	5.0%	17	5.0%	20	5.5%	9	5.7%
外国バランス型	43	12.6%	45	13.3%	51	14.1%	24	15.3%
その他	16	4.7%	16	4.7%	17	4.7%	9	5.7%
合計	340	100.0%	338	100.0%	362	100.0%	157	100.0%
うちノーロード※ (つみたてNISA専用除く)	29	8.5%	28	8.3%	29	8.0%	22	14.0%
うちつみたてNISA専用	14	4.1%	14	4.1%	17	4.7%	7	4.5%

※販売手数料無料の商品

- FFG3行では、お客さまに金融商品のご提案を行う際は、**金融商品販売支援システム「Fits（フィット）」**を使用します。このFitsを使ったアンケートを通して、お客さまのご意向、資産状況、取引経験、株価・為替相場へのご関心の程度、取引目的・ニーズ等を把握し、それぞれのお客さまに相応しい金融商品・サービスの組成、ご提案を行うため、お客さまと十分に対話し意向を把握しております。
- またFFG証券でも、お客さまの知識、経験、資産（財産）の状況および投資目的等に照らし、適切な商品のご提供をするように心がけます。商品の特性・リスク等を踏まえ、お客さまにとって相応しくない場合は、ご提案を控えさせていただきます。

F-Cube CRM System - Windows Internet Explorer の提供元: 熊本銀行イントラネット

ご提案にあたってお客さまからお伺いたい事項 現在のページ: 1 / 6ページ

*お客さまのニーズについてお聞かせください(複数選択も可能です)

ニーズ①	<input checked="" type="checkbox"/> 資産運用または相続対策を検討したい	<input type="checkbox"/> 外貨普通預金口座開設(事業用)	<input type="checkbox"/> 外貨受取口座開設(事業用以外)
ニーズ②	<input type="checkbox"/> 将来への積立、病気や万への備え等を、保険で検討したい		

※ 生命保険は商品種類により、取扱店舗・取扱担当者に制限がございます。担当者にご確認ください。

資産運用や相続対策、将来への積立、病気や万への備え（保険）等のニーズをご確認します。

F-Cube CRM System - Windows Internet Explorer の提供元: 熊本銀行イントラネット

ご提案にあたってお客さまからお伺いたい事項 現在のページ: 3 / 6ページ

お客さまご自身について

*年収	<input type="radio"/> なし	<input checked="" type="radio"/> 500万円未満	<input type="radio"/> 500～1,000万円未満	<input type="radio"/> 1,000～3,000万円未満	<input type="radio"/> 3,000～5,000万円未満	<input type="radio"/> 5,000～1億円未満	<input type="radio"/> 1億円以上
-----	--------------------------	--	-------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------

*資産運用のご検討のきっかけ	<input type="radio"/> 当行行員からの勧誘・案内から	<input checked="" type="radio"/> お客さまご自身で、新たな商品のお取引をご検討されたことから	<input type="radio"/> お客さまご自身で、当行でのお取引商品の追加・解約等の見直しをご検討されたことから	<input type="radio"/> お客さまのご家族・ご友人等の勧めから
----------------	--------------------------------------	--	--	--

ご検討される運用期間、資金について

*運用期間	<input type="radio"/> 1年未満
-------	----------------------------

*余裕資金からの運用のご検討ですか
(生活資金または借入資金での運用はお断り)
※ 余裕資金以外からの運用をご選択のお客さま以後の項目のご確認は不要です。「次へ」を

戻る

年収、運用期間、運用は余裕資金でご検討しているか等をご確認します。

投資経験、保有状況をご確認します。

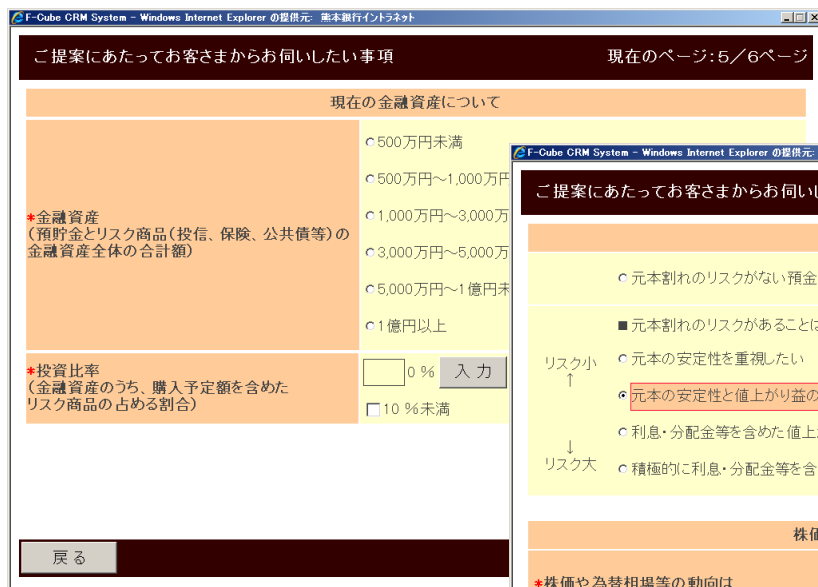
F-Cube CRM System - Windows Internet Explorer の提供元: 熊本銀行イントラネット

ご提案にあたってお客さまからお伺いたい事項 現在のページ: 4 / 6ページ

	投資経験について				現在の保有状況
	全て経験なし				
*公共債	<input checked="" type="radio"/> 経験なし	<input type="radio"/> 1年未満	<input type="radio"/> 1年以上3年未満	<input type="radio"/> 3年以上	<input type="checkbox"/> 保有あり
*株式	<input type="radio"/> 経験なし	<input type="radio"/> 1年未満	<input type="radio"/> 1年以上3年未満	<input checked="" type="radio"/> 3年以上	<input type="checkbox"/> 保有あり
*投資信託	<input type="radio"/> 経験なし	<input type="radio"/> 1年未満	<input type="radio"/> 1年以上3年未満	<input checked="" type="radio"/> 3年以上	<input checked="" type="checkbox"/> 保有あり
*一時払保険	<input checked="" type="radio"/> 経験なし	<input type="radio"/> 1年未満	<input type="radio"/> 1年以上3年未満	<input type="radio"/> 3年以上	<input type="checkbox"/> 保有あり
*その他平準払保険	<input type="radio"/> 経験なし	<input type="radio"/> 1年未満	<input type="radio"/> 1年以上3年未満	<input checked="" type="radio"/> 3年以上	<input type="checkbox"/> 保有あり
*特定預金 ※	<input checked="" type="radio"/> 経験なし	<input type="radio"/> 1年未満	<input type="radio"/> 1年以上3年未満	<input type="radio"/> 3年以上	<input type="checkbox"/> 保有あり
*外債	<input checked="" type="radio"/> 経験なし	<input type="radio"/> 1年未満	<input type="radio"/> 1年以上3年未満	<input type="radio"/> 3年以上	<input type="checkbox"/> 保有あり
*社債	<input checked="" type="radio"/> 経験なし	<input type="radio"/> 1年未満	<input type="radio"/> 1年以上3年未満	<input type="radio"/> 3年以上	<input type="checkbox"/> 保有あり

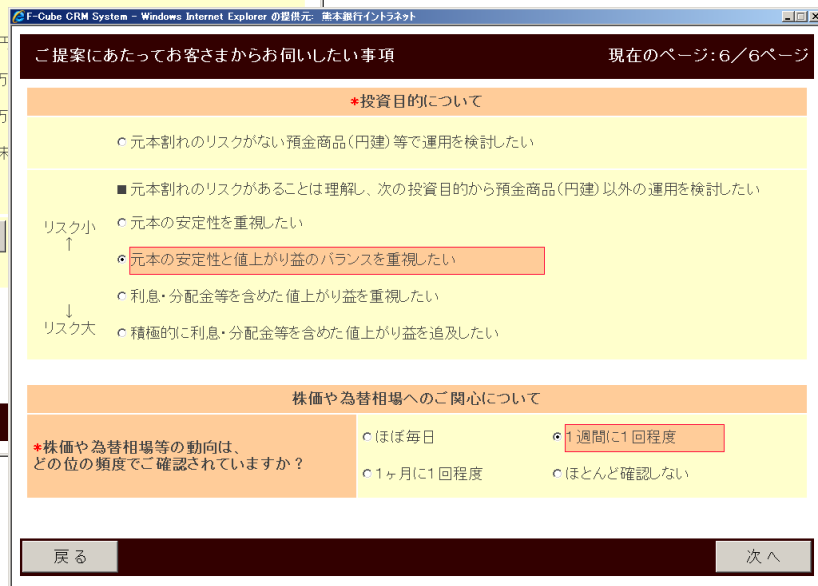
※ 特定預金とは、投資性の強い預金を意味し外貨預金等がこれに該当します。

戻る 次へ



金融資産、投資比率をご確認します。

投資目的（リスク許容度）、株価や為替相場へのご関心の程度をご確認します。



アンケート結果やアンケートを通してのお客さまとの会話に基づき、お客さまに相応しい商品をご提案します。

<「F-navi+」を活用した実績データ確認> 銀行

- F-navi+では、複数の質問にお答え頂くことで、お客さまのご意向に合うプランをご選択いただくことができることに加え、過去の実績をもとにしたデータをご覧いただきながら、ご意向に沿ったものかをご確認いただくことが可能です。
- 具体的な数字やグラフを用いて、リターンやリスク、最大ドローダウン（下落率）といった内容についてご説明して、お客さまに合ったプランをご提案いたします。

(指数) — 安定成長コース (ベーシックプラン) — 安定成長コース (ベーシックプラン) の資産配分と同じグループ平均ポートフォリオ



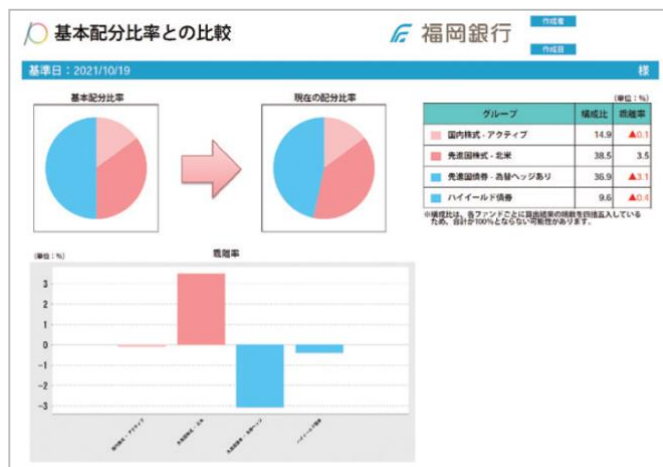
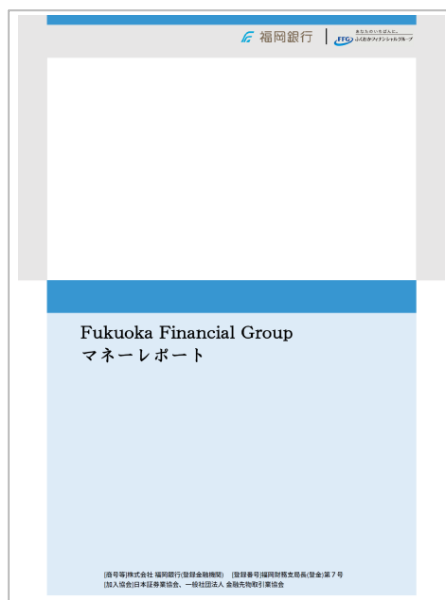
	期間騰落率 (%)	リターン (年率,%)	上昇月頻度 (%)	上昇月数 (ヶ月)	下落月数 (ヶ月)	月次リターン 最大値 (%)	月次リターン 最小値 (%)	最大ドローダウン (%)	期間	単純平均リターン (年率,%)	リスク (年率,%)	リターン/リスク
安定成長コース (ベーシックプラン)	191.2	6.8	66.7	130	65	7.5	-10.7	-23.2	2008/09 ~ 2009/01	7.2	10.9	0.66

<購入いただいたお客さまへのフォローアップ>

銀行

証券

- 販売担当者には研修等を通じてフォローアップの重要性を指導しており、実際に相場急落など投資信託の基準価額に大きく影響を与える事象が発生した際には、詳しい状況についてご説明ができる体制としております。
- FFG3行では、投資信託をお持ちのお客さまに対して定期的なフォローアップを行うため、マネーレポートや「投信のパレット」のサービスの1つである「フォローアップシステム」を活用して運用状況の報告を行い、さらに必要に応じ各担当者による面談、ご連絡を含めたフォローアップを行っております。



▲ フォローアップシステムより出力した運用報告書

◀ マネーレポート

- また、FFG 3 行を通じて保険契約にご加入いただいたお客さまに対して、ご契約の満期や更改のご案内だけでなく、保険料の未払いなどにより、お客さまが意図せず保障が途切れることがないように、フォローアップを行っております。

□ お借入のあるお客さまやご高齢のお客さまへの販売

銀行

証券

- FFGでは、お客さまの年齢や属性（お借入の有無等）に応じて、販売ルールや確認プロセスを設け、不適切な販売を牽制しております。
- 例えば、リスクの高い金融商品の販売・推奨等を行う場合や、金融取引のご経験が浅いお客さま・ご高齢のお客さまに対して商品の販売・推奨等を行う場合には、担当者とその上司など、複数人の社員によって理解度の確認を行うなどの受付を行っております。
- また必要に応じて、お客さまのご家族に同席いただいたり、クールダウン期間を設けるなどの工夫を行っております。

□ 「記録簿」の作成と管理部門によるモニタリング

銀行

証券

- FFGでは、金融商品を販売した際、お客さまに説明した内容や金融商品販売に対するお客さまの反応等を記載する「記録簿」を作成します。営業責任者および内部管理責任者は「記録簿」にて、担当者の販売が適切であったかどうかを確認します。併せて、お客さまの年齢や属性（お借入の有無等）に応じて、本部でのモニタリングも実施しております。

□ お役に立った保険金・給付金の状況

銀行

- FFG3行では、単なる運用サポートにとどまらず、保険商品の元来有する特長を活用することによって、保障や介護、相続など、お客さまの多様かつ日々刻々と変化するニーズに適切に応えられるようお客さまに提案しております。

福岡銀行

(千件、億円)

	2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保険金	1.5	114.6	1.4	106.5	1.7	124.8
死亡	1.5	113.7	1.4	104.5	1.6	122.0
災害	0.0	0.8	0.0	1.8	0.0	2.2
高度障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.5
給付金	4.1	6.9	5.1	11.1	11.4	17.1
死亡	0.0	1.0	0.0	2.6	0.0	1.9
入院	1.7	1.2	2.2	1.4	7.3	4.2
手術	1.2	0.9	1.4	1.0	1.5	1.1
障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.2	3.9	1.5	6.0	2.5	10.0
満期／年金	14.1	142.3	15.2	130.5	16.3	135.9

熊本銀行

(千件、億円)

	2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保険金	0.6	33.9	0.9	26.3	0.8	29.0
死亡	0.6	33.7	0.9	26.0	0.8	28.7
災害	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	0.3
高度障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
給付金	1.4	2.8	1.8	3.6	4.1	4.9
死亡	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.3
入院	0.6	0.5	0.7	0.5	2.5	1.5
手術	0.4	0.4	0.5	0.3	0.5	0.3
障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.5	1.9	0.6	2.7	1.0	2.8
満期／年金	3.4	24.5	3.8	26.8	3.5	23.4

	2020年度		2021年度		2022年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保険金	1.2	83.2	1.2	73.0	1.5	98.0
死亡	1.2	81.1	1.2	72.5	1.5	97.3
災害	0.0	2.1	0.0	0.4	0.0	0.6
高度障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.2
給付金	2.6	8.6	3.5	14.2	8.4	22.0
死亡	0.0	0.3	0.0	1.2	0.0	1.1
入院	0.9	0.6	1.2	0.8	4.6	2.6
手術	0.6	0.4	0.7	0.5	0.9	0.6
障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.1	7.2	1.6	11.6	2.8	17.7
満期／年金	4.7	57.3	5.5	53.0	6.2	49.3

<商品ラインナップの整備>

銀行

- お客さまがグループ行にお持ちの資産残高やリスク資産保有の有無（含む国債）といった資産形成の状況、あるいは過去のご面談状況等を考慮し、お客さまの多様な保障ニーズにお応えするため、常に中立性を保持しながら高品質の商品・サービスを厳選し、100商品を超える幅広い商品ラインナップを構築しております。

◆ 保険商品ラインナップ（2023年3月末現在）

<生命保険>		福岡銀行			熊本銀行			十八親和銀行		
商品種類	商品数	比率	うち法人専用	商品数	比率	うち法人専用	商品数	比率	うち法人専用	
一時払	円建	6	17.1%	0	6	17.1%	0	6	17.1%	0
	変額年金保険	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0
	定額年金保険	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0
	終身保険	6	17.1%	0	6	17.1%	0	6	17.1%	0
	外貨建	29	82.9%	0	29	82.9%	0	29	82.9%	0
	変額年金保険	2	5.7%	0	2	5.7%	0	2	5.7%	0
	定額年金保険	7	20.0%	0	7	20.0%	0	7	20.0%	0
	養老保険	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0
	終身保険	20	57.1%	0	20	57.1%	0	20	57.1%	0
	合計	35	100.0%	0	35	100.0%	0	35	100.0%	0
平準払	学資保険	2	1.9%	0	2	1.9%	0	2	1.9%	0
	年金保険	6	5.7%	2	6	5.7%	2	6	5.7%	2
	養老保険	5	4.7%	4	5	4.7%	4	5	4.7%	4
	終身保険	10	9.4%	2	10	9.4%	2	10	9.4%	2
	定期保険	42	39.6%	38	42	39.6%	38	42	39.6%	38
	収入保障保険	7	6.6%	0	7	6.6%	0	7	6.6%	0
	医療・がん保険	34	32.1%	8	34	32.1%	8	34	32.1%	8
	合計	106	100.0%	54	106	100.0%	54	106	100.0%	54

<損害保険>		福岡銀行			熊本銀行			十八親和銀行		
商品種類	取扱社数	取扱社数		取扱社数		取扱社数				
		個人向け	法人向け	個人向け	法人向け	個人向け	法人向け			
火災保険	3	○	○	3	○	○	3	○	○	
傷害保険	3	○	○	3	○	○	3	○	○	
新種保険	3	—	○	3	—	○	3	—	○	

※「○」は個人向け／法人向け商品を取扱う保険会社があることを表しております。

- FFG3行では、既にご加入中の複数の保障をまとめて可視化してご説明する、「生命保険確認サービス」を2021年10月に福岡銀行にて先行スタートし、2022年10月から十八親和銀行、2022年11月から熊本銀行で開始いたしました。ご加入中の保障内容の説明に留まらず、将来的に必要な保障や不足していると思われる保障など、お客さまのニーズに応じてご提案しています。

福岡銀行 | FUKUOKA BANK

ご加入中の保険は今のあなたに合っていますか？
生命保険確認サービス
ご利用 無料

ふくぎんで保障内容の確認ができます！

こんなギモンはありませんか？

借入った返済で
今の保障は足りているか？

保険料が今よりも
上がるか心配？

病気や入院したら
いくらもらえるだろう？

「でも保険会社に行くのも面倒だし…」 「断りのついでに顔で確認できたらあ…」

ふくぎん生命保険確認サービスなら

いつもの
銀行の窓口で！

見やすい「分析シート」で
お客さまの保険をおまとめ！

現在のお客さまに
必要な保障なのか
お金のプロと一緒に確認！

このような方も
ぜひご利用ください！

- 契約から5年以上経過した方
- もうすぐ定年を迎え、家計の負担を抑えたい方
- お誕生日が近い方

この流れの分析シートについて、くまびらCOPへ

©2022年10月 10/24

ご利用の流れ

STEP1

保障証券をお近くの
ふくぎん窓口にお持ち
ください。
保障証券だけでなく、
ご契約内容の分かる
書類であればご利用
いただけます。

STEP2

お客さまに合った保障内容
を確認するため、ご加入の
目的や今の悩みについて
お話しいたします。

STEP3

1週間後、お作りした書類
結果の分析シートもともに
ご利用いたします。

※画像はイメージです。

分析シートについて

※画像はイメージです。

1 保障額の推移

2 保障内容の
チェックポイント

3 保険料の推移

こんなことが分かります！

- ご加入中の複数の保障証券の合計の「お返し」もご利用いただけます。
- 保険会社ではない「お客様」がご利用になる場合は、ご契約者さまの同意が必須となります。
- 確認する契約内容の20%以上ある場合は、分析シートの内容に1割以上お間違いいただくことがあります。

分析シート

現在の1ヶ月あたり保険料合計
13,012円
保険料は更新時に再算定されます！

■ 普通死亡保障額

■ 入院保障額（入院給付金日額）

■ 1ヶ月あたりの保険料推移予想

ご確認ください
① 分析シートは、お客様の申し込みにより作成したものです。このシートは、契約内容の概要のみを記載していますので、詳細についてはご加入の保険会社にご確認ください。② 分析シートは、保障証券に記載のある事項を元にシミュレーションしたものです。③ 更新保険料や一時給付金額が表示されている場合は関係上の保険料率を基に試算で算出されたものです。ご加入の各保険会社にご確認ください。＊ 年齢が上がるにつれて保険料は上がります。保険料の推移はあくまでも目安です。

作成日： 2022/09/04

被保険者	サンプル 主人様(男性)	契約日	2014年08月01日
生年月日	昭和59年10月15日	契約年齢	29歳

● OEQK POINT

● この契約は保障額と制度も利用した契約で、見直し契約的ものとして作成しております。保障内容と制度についての詳細は加入中の保険会社にご確認ください。

● 現在の死亡保障額は3,000万円です。
 ○うち1,000万円は定期保障で、死亡したとき支払われます。(保障期間は44歳、更新制度は65歳。)
 ○うち500万円は次期保障額で、死亡したとき、または指定の「がん(悪性新生物)・急性心臓病・脳卒中」で所定の状態、所定の年齢のいずれかに該当したとき、3次保障額が支払われます(総付保額1300万)。また上記内発生したとき、上記内発生した保障金の方向けに支払われる総付保額1100万、保障期間は65歳、更新制度は65歳。
 ○上記内発生した保障額を支払ったとき、3次保障額を支払ったとき、3次保障額と死亡保障金は重複して支払われます。
 ○うち500万円は身体障害保障で、死亡したとき、または身体障害が1級または2級の状態で、1〜3級の身体障害が手帳を交付されたとき、身体障害が交付されたとき、または指定の「がん(悪性新生物)・急性心臓病・脳卒中」で所定の状態、所定の年齢のいずれかに該当したとき、3次保障額が支払われます(総付保額1300万)。また上記内発生したとき、上記内発生した保障金の方向けに支払われる総付保額1100万、保障期間は65歳、更新制度は65歳。
 ○保障額は毎月1日に更新されるものと、死亡保障金の一部が更新されるものとがあります。

● 保障額が免除特約20%により、所定の3次保障「がん(悪性新生物)・急性心臓病・脳卒中」で所定の状態、所定の年齢のいずれかに該当したとき、身体障害が1級または2級の状態で、1〜3級の身体障害が手帳を交付されたとき、公的介護保険制度の要介護2以上と認定されたこと、所定の要介護状態が180日以上継続したことを判断されたとき、以後の保障の払込が免除されます。

● 障害状態にも申し出により所定の保障を継続することができます。詳細は保険会社にご確認ください。

● 保障額と制度の利用により毎月の保険料は、見直し後の保険料から元金保障料450円を差し引いた金額となります。

● OEQK POINT

病気による入院	10,000円	生活習慣病による入院	20,000円
ケガによる入院	10,000円	がんによる入院	30,000円
女性特有の病気による入院	-	病気・ケガによる通院	-

● 総合医療保障により、2日以上入院で1日目から支払われます(総付保額11万14日、通算1095日)。
 ○がん保障により、がん(悪性新生物)を患ったとき、がん(悪性新生物)が1日目から支払われます(総付保額11万14日)。
 ○経済生活保障(入院給付金あり型)により、180日以上入院したとき、入院給付金15万円が支払われます(総付保額3000万)。
 ○総合医療保障(特定疾病特約)により、特定疾病(入院したとき、2日以上入院で1日目から支払われます)。
 ○対象となる特定疾病とは、所定の「がん(悪性新生物)を患ったとき、脳梗死、心臓病、高度性心疾患、大動脈瘤など、脳血管疾患、腎臓病、肝臓病」を指します。
 ○総合医療保障により、公的介護保険制度の要介護2(要介護)・要介護3(要介護)が認定されたとき、手術給付金(入院・日帰り入院中5万円)・入院中20万円(所定の手術給付金の50%)・加療給付金(総付保額10万円)が支払われます。
 ○がん保障により、がん(悪性新生物)を患ったとき、2日以上入院で1日目から支払われます。
 ○手術給付金(入院・日帰り入院中5万円)・入院中20万円(所定の手術給付金の50%)・加療給付金(総付保額10万円)が支払われます。
 ○特定疾病保障により、対象となる特定疾病(入院したとき、2日以上入院で1日目から支払われます)・要介護2(要介護)・要介護3(要介護)が認定されたとき、手術給付金(入院・日帰り入院中5万円)が支払われます(総付保額1000万)。(保障期間は65歳。)

● 総合医療保障の保障額は44歳で、更新制度は65歳です。
 ○がん保障の保障額は44歳で、更新制度は65歳です。

● 指定年齢にも申し出により所定の保障を継続することができます。詳細は保険会社にご確認ください。

● OEQK POINT

1ヶ月あたりの保険料推移予想(概算)

現在	13,012円	12,636,192円 (65歳払込終了)
44歳	31,982円	
50歳	63,226円	
60歳	62,976円	
65歳	払込終了	

更新可能な保障は更新可能な保障額まで更新することもできます。更新可能な保障額を超えても更新できません。

作成日： 2022/09/04

16

【従業員に対する適切な動機付けの枠組み】

原則7：従業員に対する適切な動機付けの枠組み等

<FFGの目指す姿>

銀行

証券

- FFGでは、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づき行動することが、地域経済発展への貢献とFFGの企業価値向上の好循環サイクルの実現に繋がるものと考えております。
- 「お客さま本位の営業」を実践するため、営業活動の指針となる業績評価体系を整備しております。

□ 業績評価体系のポイント

銀行

証券

銀行	<ul style="list-style-type: none">● お客さまの資産形成・増大への貢献を評価するため、販売や収益だけでなく、「お預りする資産」の残高に重点をおいております。● 「お客さま本位の営業」を実現するため、「営業活動のプロセス」を業績評価へと反映し、お客さまとともにゴールを目指す「ゴールベース型の営業」を実践しております。
FFG証券	<ul style="list-style-type: none">● 「お客さま本位の営業」を実践するため、お客さまの声（ご意見・ご要望）を蓄積し、営業活動の改善にどれだけ活かしているかを業績評価の対象としております。● 面談件数等お客さまへのフォロー状況も評価の対象としております。

□ 業務スキル調査（営業カチェック）、人財育成カルテ

銀行

- FFG3行では、営業担当者全員が全ての業務について自身の実力を客観的に振り返り、今後のスキルアップに繋げることを目的として業務スキル調査をおこなっております。
- 業務スキルは、人財育成カルテ（業務スキルの推移、従業員の保有資格状況、社内セミナーへの参加状況等の自己啓発の状況を蓄積した電子資料）へ反映しており、適宜従業員とその上司が確認できるようになっております。
- 業務スキル・人財育成カルテは従業員自身のスキル確認と併せて、自己啓発やキャリアビジョンの計画を立てる際にも活用されており、上司・所属長は1on1ミーティング等の面談の際にも活用しております。

□ ミニмумライセンス制度

銀行

証券

- FFG3行では、担当業務ごとの知識やスキルを高めるために必要な検定試験を取得する取組み（ミニмумライセンス制度）を実施しております。若手社員各自のキャリアビジョンや必要性に応じて、主体的に自己啓発に取り組むため、取得科目の『選択制』を導入し各種資格の取得を推奨しております。2023年4月に改定し、3年目までの基礎編と4・5年目のキャリア形成編を設定することにより、若手社員が各自のキャリアについてイメージしやすくなっております。
- 中でも、コンサルティング営業の基礎となる「FP2級」につきましては福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・FFG証券で、入社3年以内の『早期取得』を強く推奨しております。併せて、資格取得にかかる受験費用等は資金援助を行うなど従業員が積極的に資格取得に挑戦しやすい環境を整備しております。

□ FP1級・2級資格保有者数

銀行

証券

- お客さまの状況に応じた最適な商品・サービスをご提供するために、金融サービスのプロとして必要な知識を習得し、実践で活用できるよう、FP2級以上の資格取得を推進しております。

	2021/3末	2022/3末	2023/3末
福岡銀行	2,211	2,325	2,394
熊本銀行	483	500	505
十八親和銀行	1,388	1,366	1,339
FFG証券	149	153	151
合計	4,231	4,344	4,389

【重要な情報の分かりやすい提供】

原則5：重要な情報の分かりやすい提供

<「重要情報シート」の活用>

銀行

証券

- 商品のリスクや手数料等の情報を、お客さまに簡潔にわかりやすく提供し、金融商品の比較を容易にするため、重要情報シート（金融事業者編、個別商品編）を活用します。
- 金融事業者編には、グループ銀行の基本情報や「お客さま本位の業務運営」に関する取組方針、取扱商品、商品ラインナップに対する考え方、苦情・相談窓口を記載しており、投資信託や外貨建保険の新規取引の際に説明・交付しています。（福岡銀行では2023年4月から、十八親和銀行・熊本銀行では5月から重要情報シートに取組方針の記載を行いました。）
- 個別商品編には、商品の内容、リスク、運用実績、費用、換金・解約の条件等を記載し、お客さまが複数商品を比較・検討しやすいよう、商品毎に同一フォーマットで作成しています。投資信託や外貨建保険の販売の際に説明・交付しています。
- ご提案の際には、お客さまと十分に対話し意向を把握（金融商品販売支援システムを使用）しながら、お客さまの知識、経験、資産（財産）の状況および投資目的等に照らし、適切な商品のご提供をするように心がけます。商品の特性・リスク等を踏まえ、お客さまにとって相応しくない場合は、ご提案を控えさせていただきます。

【金融事業者編】

福岡銀行 | 福岡銀行株式会社

重要情報シート（金融事業者編）

1 当行の基本情報（当行はお客さまに金融商品の販売[または販売仲介]をする者です）

社名	株式会社 福岡銀行
登録番号	福岡財務支辨長(資)第7号
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
当行の概要を記したウェブサイト	https://www.fukuokabank.co.jp

2 取扱商品（当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

取扱商品	1年以内の償還期間が満了している商品	1年以上2年以内の償還期間	2年以上3年以内の償還期間	3年以上5年以内の償還期間	5年以上	償還期間不詳	特 定	保 険
普通預金・定期預金	●	●	●	●	●	●	●	●
外貨預金	●	●	●	●	●	●	●	●
国内株式・外国株式*	—	●	●	●	●	●	●	●
外債債券*	—	●	●	●	●	●	●	●
投資信託	●	●	●	●	●	●	●	●
ファンクラブ	●	●	●	●	●	●	●	●
一括払保険	●	●	●	●	●	●	●	●
平準払保険(貯蓄性)	●	●	●	●	●	●	●	●
平準払保険(保障性)	●	●	●	●	●	●	●	●

3 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

4 苦情・相談窓口

当行お客さま相談窓口	サービス監査室	0120-338-678	
加入協会共通の相談窓口	全国銀行協会相談室	0570-017109 (03-5252-3772)	【受付時間】 平日9時～17時
	証券・金融商品あつせん相談センター	0120-64-5005	
金融庁金融サービス利用者相談室		0570-016811 (03-5251-6811)	【受付時間】 平日10時～17時

【個別商品編】

福岡銀行

重要情報シート（個別商品編） 使用開始日：2022年01月01日

1 商品の内容（当社は、組合会社の委託を受け、お客様に商品の販売を行っています）

2 リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

- FFG証券につきましては、2022年12月から重要情報シート（金融事業者編）の導入を行っています。個別商品編の重要情報シートについても、一部銘柄から順次導入しております。
- 今後も取組方針に基づき、お客さま本位の業務運営に努めてまいります。

<FFG3行における分かりやすいご説明と提案手法の高度化>

銀行

- 手数料を含めた商品・サービスにかかる必要な情報を十分にご理解いただけるよう、パンフレット等も用いながら、お客さまのお取引経験やご提案商品の性質に応じた分かりやすいご説明を行っております。
- 2022年12月、FFGが掲げるゴールベース型営業の実践において、お客さまのゴール（真のニーズ・解決すべき課題）を把握・共有するためのツールとして「ライフプランシート」を新設しました。
- タブレット端末の活用や新しいサービスの導入によるコンサルティングの高度化、手続書類の簡素化等によるお客さまの利便性向上に取り組んでおります。

● パンフレット

～サービスガイドブック～



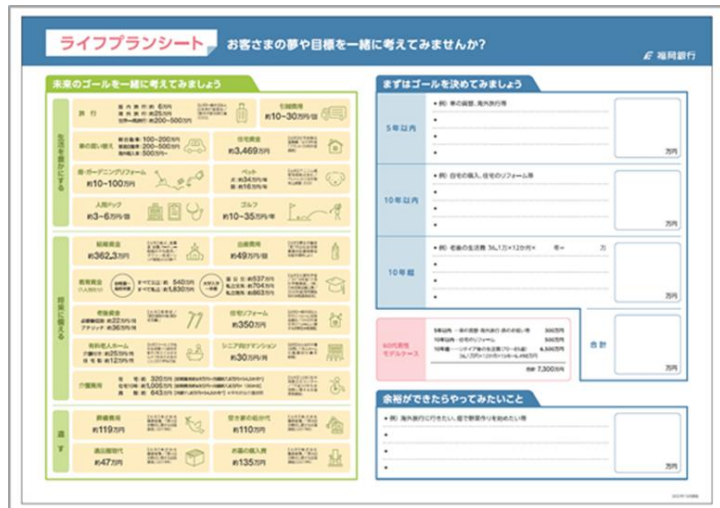
FFG 3 行では、お客さまがどのようなニーズをお持ちなのか確認することから、商品概要案内までを一冊で行える「サービスガイドブック」を活用しております。

本冊子には、税制・社会保険・マーケット等の周辺環境や、「人生100年時代」や「ライフイベントとお金」に関するデータ等もご案内しております。

併せて、「投信のパレット」や「NISA(ニーサ)：少額投資非課税制度」「iDeCo(イデコ)：個人型確定拠出年金」などの情報についても紹介しております。

ライフプランシートはお客さまとの対話を通じてお客さま自身の夢やゴールを把握し、その達成に向けて本当に必要な金額がどの程度かを“可視化”するものです。

～ライフプランシート～



上記の情報をご案内しながら、ニーズをご確認し、お客さまに合ったコンサルティングを行っております。

- FFG3行では、お客さまが利用をしやすい、わかりやすいホームページの作成を行っています。
- 投資信託初心者ガイドのページでは、お客さまの投資信託に対する素朴な疑問にお答えしています。
- また投信のパレットのページでは、当行のお客さまが長期にわたる資産形成・資産運用を検討する中で気になる投資信託の“疑問”や“選び方”について、「投信のパレット」を使って分かりやすく説明する短編動画を「投信初心者向け」と「投信保有者向け」に分けてご覧になることができます。



□ お客さま向けセミナー・金融経済教育支援活動

銀行

証券

- お客さまの資産形成・資産運用のお役に立てるよう、運用経験の有無やニーズに合わせた金融・投資関連のセミナーを集合型に加え、オンライン形式やお取引先の従業員様へ向けたご案内も定期的に開催し、情報提供の充実に尽力しております。
- また、学生を対象とした職場体験や、学校への出前授業などにも取り組み、金融経済教育活動に参加いただくお客さまの数は増加しています。

◆ お客さま向けセミナー開催数

開催銀行	2022年 4月 - 9月	2022年10月 - 2023年3月	合計
福岡銀行	118	276	394
熊本銀行	43	60	103
十八親和銀行	313	112	425
FFG証券	4	10	14
合計	478	458	936

※ 福岡銀行・十八親和銀行の開催数はお取引先の従業員さま向けセミナーを含みます

◆ 「投信のパレット」オンラインセミナー テーマ一覧

主な対象者	テーマ	講師
全てのお客さま	ゴールを見据えたお金の色分けと資産運用	FFG 投信調査センター（※）
資産運用初心者のお客さま	人生100年時代の資産運用法	
資産運用経験があるお客さま	毎月分配型投資信託の仕組みと注意点	

※ 投資信託にかかる調査および分析を行う専門チーム。

大手証券会社等での市場投資や市場分析業務経験者も在籍しております。

◆ 金融教育支援活動参加者数

開催銀行	2020年度	2021年度	2022年度	延べ人数
福岡銀行	4,012	4,227	14,667	22,906
熊本銀行	461	1,110	2,358	3,929
十八親和銀行	890	1,515	9,655	12,060
合計	5,363	6,852	26,680	38,895

受講者数 = 当社グループの実施する各種金融セミナーや職場体験、出張授業などの金融教育受講者の2020年度から2023年度までの総合計人数

～セミナー開催の様子～

学生向けセミナー



▲ 高校での開催



▲ 大学での開催

お取引先の従業員様向けセミナー



□ 若年層向けSNSでの情報発信

銀行

証券

- FFGでは、新社会人や学生など若年層のお客さまの金融リテラシー向上をサポートするため、SNS（YouTube、Instagram）を通じて、「お金に関する豆知識」と題し、金融教育につながる情報を発信し、投資を学びながら実践する環境を整えております。

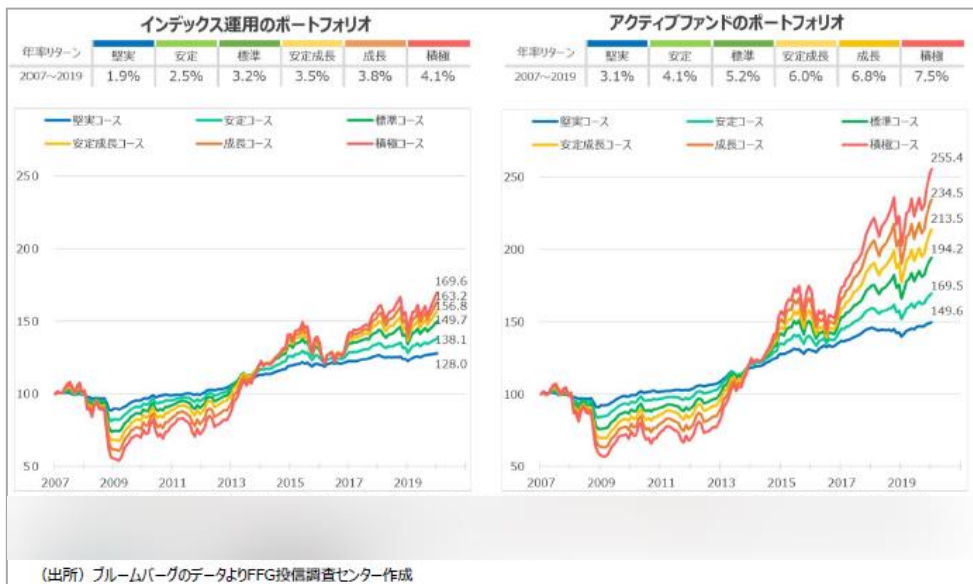
YouTubeでの配信コンテンツ（一部）



□「F-navi+」を活用した運用成果比較

銀行

- また、「投信のパレット」でご購入いただいた場合と、一般的な投資信託をご購入した場合の過去実績をもとにした運用成果の差をグラフでご確認いただけます。



□ ファンド分析資料 ～ファンドスケッチ～

銀行

- F-navi+にあるファンドデータを、定型書式でお客さまに交付できるデータシートにより、様々なファンドを同じ形式で比較することが可能となります。
- F-navi+でデータベース化した情報は、お客さまに「ファンドスケッチ」というレポートでお渡しすることが可能です。
- このレポートでは、客観的な定量評価を行っており、お客さまご自身の保有する（購入しようとする）ファンドの分析を見ることができます。また同時に、当グループのガラス張りの定量評価を確認することも可能です。



- 手数料を含めた商品・サービスにかかる必要な情報を十分にご理解いただけるよう、パンフレット等を用いながら、お客さまのお取引経験やご提案商品の性質に応じた分かりやすいご説明を行っております。
- ご購入いただけるお客さまが一部に限られる商品については、お取り扱いを中止、もしくはご購入前に商品性やご負担いただく費用を丁寧に説明し、ご購入後も運用報告書を用いて運用状況についてわかりやすく説明を行っております。
- また、新しいサービスの導入によるコンサルティングの高度化や、手続書類の簡素化等によるお客さまの利便性向上に取り組んでおります。

□ 営業体制・チャネル

非対面ニーズの高まりを受け、「非接触型・対面営業」を確立するために、オンライン営業システムを導入するなど、従来の「訪問型・対面営業」に加え、お客さまから見た営業チャネルの選択肢を増加させる取組みを実施しております。

□ ホームページ

お客さまの取引経験や金融知識を考慮のうえ、分かりやすく、誤解を招くことのない内容の情報提供を行っております。

商品内容の比較が可能なツールを設置し、リスクとリターンの関係など基本的な構造を含め、より分かりやすく情報提供を行っております。

また、特に重要な情報については区別し、強調するなどしてお客さまの注意を促すよう工夫しております。

1. 価格変動リスク

各種相場の変動などにより、価格が変動し損をすることがあります。

株式相場 金利水準 為替相場 不動産相場 商品相場 など

商品一覧

- 株式
- ETF(上場投資信託) ETN(商品連動証券)
- 優先株
- CB(転換社債型新株予約権付社債)
- REIT
- 新株予約権証券
- インフラファンド

株式等の取引に係るリスクや手数料

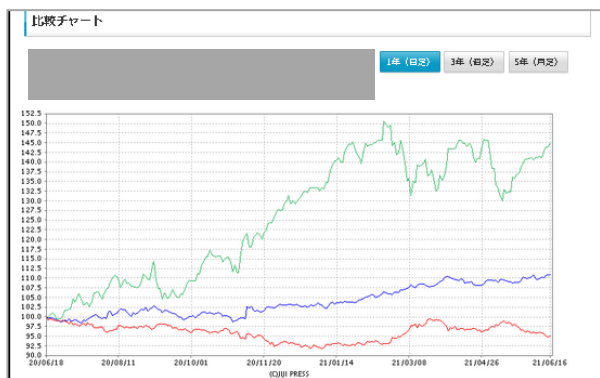
本ページで、株式等とは株式、CB(転換社債型新株予約権付社債)、新株予約権証券、ETF、ETN、REIT、インフラファンド、優先株等を指します。

⚠ 株式等の取引により損をすることがあります。

債券の取引に係るリスクや手数料

本ページによって説明する債券は、個人向け国債及び円建て・外貨建て債券です。
※本ページ前半で説明する内容は、個人向け国債を除く債券に対する説明であり、個人向け国債はリスク内容が他の債券とは異なります。

⚠ 債券を償還(満期)前に売却すると損をすることがあります。



比較一覧

ファンド名	運用会社	三井住友FJ国際	野村	三井信託TAM
ファンド分類		国内株式	外国債券	外国株式
基金総額(億円)(単位)		3,436円 (+16%) (2021/06/16)	6,084円 (+3%) (2021/06/16)	18,388円 (+118%) (2021/06/16)
純資産		42.05 億円	200.18 億円	6,685.85 億円
分配金		0円 (2021/02/15)	30円 (2021/06/07)	0円 (2021/01/07)
累積トータルリターン	1ヶ月リターン	-0.53%	+1.14%	-3.29%
	6ヶ月リターン	+3.99%	+11.15%	+12.01%
	1年リターン	-4.04%	+19.27%	+47.65%
	3年リターン	-13.32%	+14.69%	+78.88%

ロパンフレット（積立パックプラン）

FFG証券では投資におけるリスク分散手法として、時間の分散効果に加え、収益源の分散効果を示しながら、銘柄分散効果を視覚的に訴求するため、当社独自の「パッケージモデル」とモデル毎の過去のパフォーマンス実績をパンフレットに掲載するなど、お客さまがより選択しやすい積立投資提案手法を導入しています。

FFG証券 | FFG証券

コツコツ分散投資で大きな財産に！ “今”始めよう積立投資信託

FFG証券 積立パックプラン



FFG証券積立パック プラン（モデル）

下記のモデルプランに掲載している銘柄以外からも、お客さまご要望に応じて、さまざまな銘柄から組み合わせが可能です。詳しくは、担当へお問い合わせください。

3万円コース

投資先を国内株式と米国株式にすることで地域分散を実現し、安定した資産形成を目指します。

- 1 米国インデックス 225
- 2 米国NASDAQのオープンコース

組み割合率: 50% / 50%

シミュレーション結果: 2006年4月～2021年3月 毎月積立投資した場合のシミュレーション結果。2021年3月末時点での資産総額は約1,871万円です。

5万円コース

3万円コースに、国内株式や先進国株式に比べるもボタボタリ（変動幅）が高くなる新興国株式を加えることで、より高いリターン獲得を目指します。

- 1 米国インデックス 225
- 2 米国NASDAQのオープンコース
- 3 三井住友ニューチャイナファンド

組み割合率: 40% / 30% / 30%

シミュレーション結果: 2006年4月～2021年3月 毎月積立投資した場合のシミュレーション結果。2021年3月末時点での資産総額は約2,504万円です。

10万円コース

5万円コースに、輸入銘柄を数社追加ボタボタリ（変動幅）がより高くなる確率にめるファンドを加えることで、さらに高いリターン獲得を目指します。

- 1 米国インデックス 225
- 2 米国NASDAQのオープンコース
- 3 三井住友ニューチャイナファンド
- 4 MHAM 米国成長株オープン
- 5 フィデリティ 国際中小企業オープンAコース

組み割合率: 20% / 20% / 20% / 20% / 20%

シミュレーション結果: 2006年4月～2021年3月 毎月積立投資した場合のシミュレーション結果。2021年3月末時点での資産総額は約5,136万円です。

上記の組み合わせ例で、2006年4月～2021年3月に毎月積立投資した 場合をシミュレーションした結果、次ページのような成果になりました！

※本シミュレーションはあくまで参考です。過去のデータに基づき、将来の資産形成を予測したものであり、必ずしも実現するものではありません。また、投資には元本が保証されず、利益も保証されません。また、投資には元本が保証されず、利益も保証されません。また、投資には元本が保証されず、利益も保証されません。

10

今こそ、積立投資を 始めてみませんか？

5前に「お金をためる目的」や「置きたい目標額」を確認してみましょう。

老後資金

60歳以降の生活費（月額） **約36.1万円**

25歳（15年～65歳）で貯蓄すると **約10,830万円**

25歳（15年～65歳）で貯蓄すると **約10,830万円**

教育資金

（20歳～25歳までの大学卒業まで）
すべて私立（大学のみ私立） **約1,153万円**

すべて私立 **約2,644万円**

POINT 1 15年後に1,000万円が必要だと考えた場合、毎月6万円程度の貯蓄が必要となります。（金利はゼロの場合）

POINT 2 将来に向けた人生設計における必要金額を想定することで、そのゴールに向けて「余裕が少しずつ、リスクをかつつも、そのリスクを極力削減できる」状態をスタートすることが可能になります。

FFG証券積立パック プランをご活用ください

□ 情報提供の仕組み

銀行

証券

- 購入検討時にお客さまが確認する投資信託にかかる手数料については、チャンネル別（窓口・インターネット）の料率を分かりやすく表示しています。更に投資信託を購入される場合は「お申込手数料（概算）」を表示することにより、実際に支払う手数料をご確認いただいております。
- 販売員はホームページに掲載している「基準価額一覧」や業務用iPadに搭載する「ウェルズアドバイザーアプリ」、「投信ラインナップ一覧」等を活用して、お客さまにご負担いただく手数料がいくらになるのか、購入金額と料率での算出により、具体的に説明しております（同一カテゴリの手数料の比較も可能）。
- また、業務用iPadへも「F-navi+」を導入し、投資信託の様々な定量データを用い、公平中立な立場でお客さまへ説明しております。

～投資信託購入検討時の手数料率確認資料～

ファンド名称	運用会社名	基準価額 適用日	お申込手数料（消費税込）※1		信託報酬※1（消費税込）	信託財産留保額
			窓口・お電話	インターネット		
		当日	1.10%	0.990%	0.44%～0.66%	0.10%
		当日	1.10%	0.990%	0.121%～0.407%	0.05%
		当日	0.00%	0.00%	0.33%～0.44%	0.05%
		当日	0.00%	0.00%	0.495%～0.715%	0.05%
		当日	0.55%	取扱不可	0.6050%	なし
		当日	0.55%	取扱不可	0.198%～0.715%	なし
		当日	0.00%	取扱不可	0.407%～0.902%	なし
		当日	0.00%	0.00%	0.198%	なし
		当日	2.20%	1.980%	0.572%	なし

～投資信託購入時の手数料概算確認画面（Fits（フィッツ））～

お取引区分	商品名	お申込内容 （金額／口数）	お申込手数料 （概算）
			33,000円

- FFG証券では、ホームページ上の基準価額一覧から商品を選択し、画面遷移の中で、お客さまへ手数料の説明を行っております。

国内投資信託
外国建て投資信託
ランキング
マイファンド

全一覧
国内債券
国内株式
国内リート

外国リート
バランス
MLP
その他資産

ファンド 検索 リセット	ファンド 分類	ファンド名	基準価額 /前日比 (円)	経路差 (円)	経年日
<input type="checkbox"/>	国内債券		5,651 +44	32.84	06/17
<input type="checkbox"/>	国内債券		10,992 -12	184.95	06/17
<input type="checkbox"/>	国内債券		11,504 -10	88.38	06/17
<input type="checkbox"/>	国内債券		9,204 -11	14.93	06/17

運用会社：

基準日： 2021/06/17

基準価額： 5,651円 (+44円)

純資産： 32.84億円 (+0.27億円)

+ マイファンドに追加
● 印刷用ページを表示

チャート
ファンド情報
運用情報

設定日	2013年4月10日	償還日	2024年3月15日
受託銀行		お申込単位	1万円以上1円単位 1万円以上1口単位
お申込手数料（消費税込）	1.10%	信託財産留保額	ありません
決算日+1	4月11日	基準価額適用日	申込日当日
信託報酬+2 （消費税込）	0.572%	解約代金入金日	4営業日
分配金受取	受取のみ	リンク先	https://www.tdasset.co.jp/

*1 決算日が銀行休業日の場合は翌営業日となります。

- 特定保険契約については、重要情報シート（個別商品編）や保険会社作成の契約締結前交付書面<契約概要／注意喚起情報>、概要書等を用いて、当該商品でお客さまのご負担となる費用について説明しております。重要情報シート（個別商品編）には、コストや手数料に関する質問例を記載しており、お客さまからの質問に応じて、重要情報シート（金融事業者編、個別商品編）等を活用して説明します。

○お客さまにご負担いただく費用について

- ・保険契約関係費 ご契約の初期費用や、保険期間中、年金受取期間中の費用等、契約の締結、成立、維持、管理に必要な経費です。
- ・資産運用関係費 投資信託の信託報酬や、信託事務の諸費用等、特別勘定の運用により発生する費用です。
- ・解約控除 契約日から一定期間内の解約の場合に積立金から控除される金額です。
※外貨建保険の保険料を円貨でご用意される際には為替手数料が必要となります。また、外貨建の保険金などを受取る場合、円貨へ交換する場合等、手数料をご負担いただく場合があります。

○お客さまのご負担となるリスクについて

- ・外貨建保険 為替レートの変動により、お受取になる円換算後の保険金額がご契約時における円換算後の保険金額を下回ることがあり、損失を生じるおそれがあります。
- ・MVAを利用した保険商品（市場金利等によって解約返戻金額が変動するタイプの商品） 市場金利に応じた運用資産の価格変動が解約返戻金に反映するため、市場金利の変動により解約返戻金が既払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

[個別商品編に記載の質問例]

- 次のようなご質問(ご要望)があればお問い合わせください。
- ⑥ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
 - ⑦ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

[個別商品編]

[回答例 (webでも確認できます)]

2023年4月版
重要情報シート
販売会社：株式会社 福岡銀行

この資料は、この商品の全ての事項を記載したものではありません。ご購入に際しては、「商品概要」「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」兼「商品パンフレット」「試算設計書」「契約のあり・約款」などをお読みください。

この商品の
預金と
1. 商品
金融
組成会社
2. 費用
金融
運用成果に応じた費用
成功報酬等

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に発生する費用 (販売手数料等)	<告知コース> 【米ドル建・米ドル建】 一時払保険料の5.7%~6.5%（契約年齢により異なる） 【円建】 一時払保険料の2.0% <無告知コース> 【米ドル建・米ドル建】 一時払保険料の6.5% 【円建】 一時払保険料の2.0%
継続的に発生する費用 (信託報酬等)	次の費用を毎月積立金から控除します。 ・死亡保険 高度障害保険（告知コースのみ）に必要な費用、介護保険に必要な費用（特別を付加した場合） ※これらの費用は、契約年齢・性別・経過期間等により異なりますので、一律には記載できません。 ・基金金利を元に積立利率を設定する際、ご契約の締結や維持に必要な費用、死亡保険に必要な費用（無告知コースのみ）を差し引いています。
運用成果に応じた費用 (成功報酬等)	ありません。

※上記以外に追加費用を要する詳細は「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」兼「商品パンフレット」にお客さまにご覧いただく費用が「**約定手数料**」です。

次のようなご質問(ご要望)があればお問い合わせください。

- ⑥ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ⑦ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合は、一定の不利益を被ることがあります）

解約はいつでも可能です。
解約の場合、市場金利の変動の影響により、解約払戻金は指定運用ベースでも一時払保険料を下回ることがあります。また、外貨建の解約払戻金を円貨で受け取る場合、為替レートの変動の影響を受け、一時払保険料（円換算額）を下回ることがあります。

※詳細は「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）」兼「商品パンフレット」の「換金及び解約の条件」についてご確認ください。

次のようなご質問(ご要望)があればお問い合わせください。

- ⑥ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ⑦ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

2. リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、将来価値が必ずしも期待通りとは限りません。過去の投資実績は将来の投資成果がどうなるかわかりません。）

上記のリスクについて、私が見解できるように説明して頂きたい。

【投資信託の場合】

- 投資信託の場合、交付投資報告書の「投資リスク」の欄で、基準資産の変動範囲、各商品に係る個別のリスクの認識が記載されています。
- また、月次レポートでもご確認いただけます。月次レポートは当行ホームページトップメニュー「情報検索」>「投資信託」からご覧いただけます。

【外貨建保険の場合】

- 外貨建保険の場合、契約締結前交付書面にリスクの認識が記載されています。

【投資信託の場合、当行ホームページで、投資信託を保有して確認いただけます。】

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

私がこの商品に〇〇万円を投資した場合は、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。

【投資信託の場合】

- 投資信託の場合は、購入時手数料、購入時手数料は、各商品金額に手数料がかかります。
- 信託報酬（運用管理費用）は、投資信託の運用資産に課税され、毎月発生いたします。

【外貨建保険の場合】

- 外貨建保険の場合は、購入時手数料、購入時手数料は、一時払保険料に課税率を乗じた金額を一時払保険料から控除します。
- 信託報酬（運用管理費用）は、基準資産の変動範囲に、積立利率等を計算した上で必ず発生し引かれる場合や積立金額から差し引かれる場合があります。
- 保険料の場合、運用関係費は、特別勘定の運用に係る費用として、特別勘定の運用から差し引かれます。
- 一時払保険料を円貨で受け取る場合は為替手数料を費用にいただきます。
- 商品によって発生する費用、金額が異なります。詳しくは契約締結前交付書面の注意喚起情報をご確認ください。

【ご質問】

- 例えば下記の外貨建保険を100万円購入した場合
 契約初期費用率：3.0%（税込）
 「保険料換算率：1.0%（税込）」
 「円金為替手数料：TTM（100円）+50円」
 契約初期費用：100万円×3.0%+30,000円
 保険料換算率：100万円×1.0%+100円
 円金為替手数料：(100万円-100円)×(100円/100.5円)+100円+5,000円
 ※これらの費用は外貨建保険で必ず発生するものでなく、商品によって費用は異なります。

【利益相反の適切な管理】

原則 3 : 利益相反の適切な管理

《利益相反への対応方針》

銀行

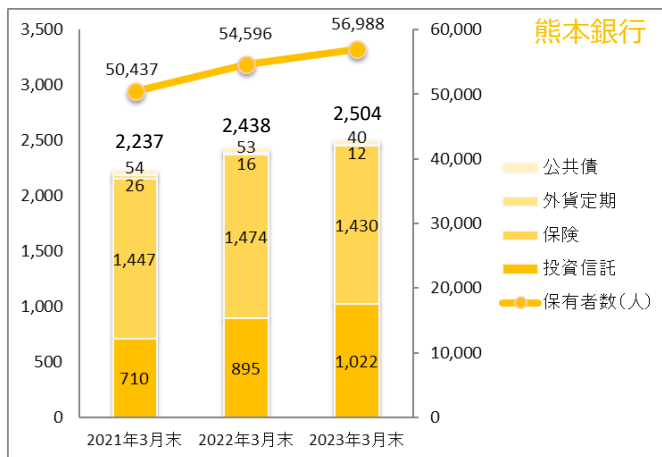
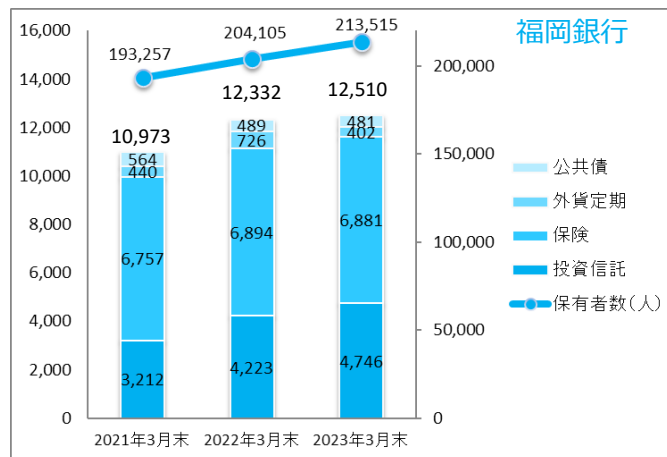
証券

- お客さまに提供する金融商品・サービスは、特定の投資運用会社や保険会社に偏ることなく、社会情勢や金融商品・サービスにかかる手数料の水準も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズに応えられるものを選定します（商品導入時の客観性を確保し、公正・中立な立場で商品の選定を行うため、外部評価機関による商品評価を取得しております）。
- そのため、運用会社等と何らかの取引関係を有する場合（たとえば、顧客向けセミナーの共同開催など）であっても、お客さまの利益に合致したものであることを前提としております。
- 投資信託・保険商品等において、商品の提供会社から販売手数料等の支払を受ける場合がありますが、お客さまの利益と反する販売がないように、業績評価体系を整備し、販売した商品による評価に差異はありません。
- なお、グループ内に、販売商品を供給する会社や販売商品を運用する部門はないため、特定の商品に偏ることなく、お客さまに最も適した商品をご提案いたします。

【預り資産残高の推移】

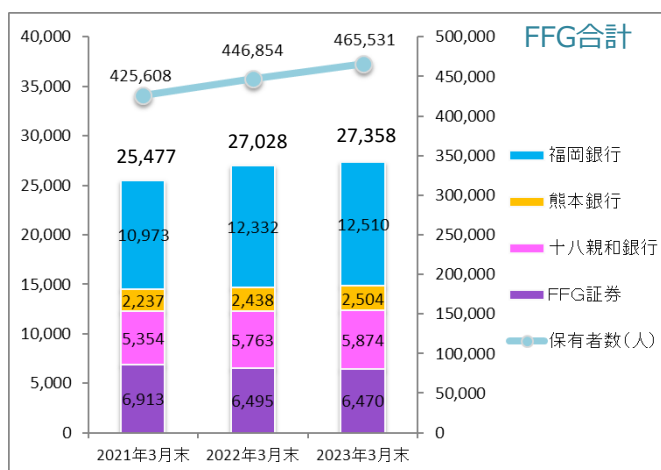
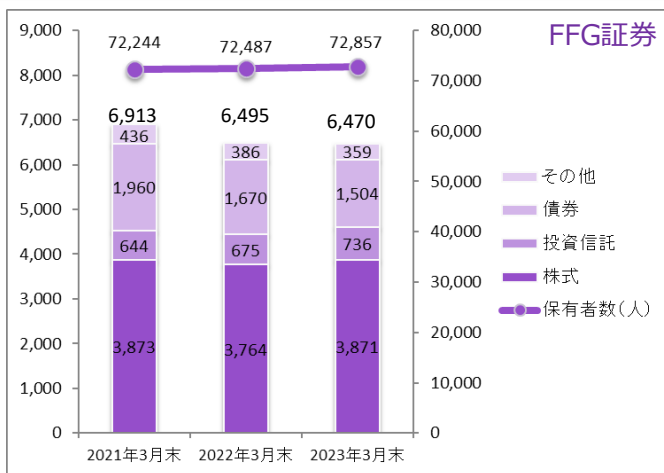
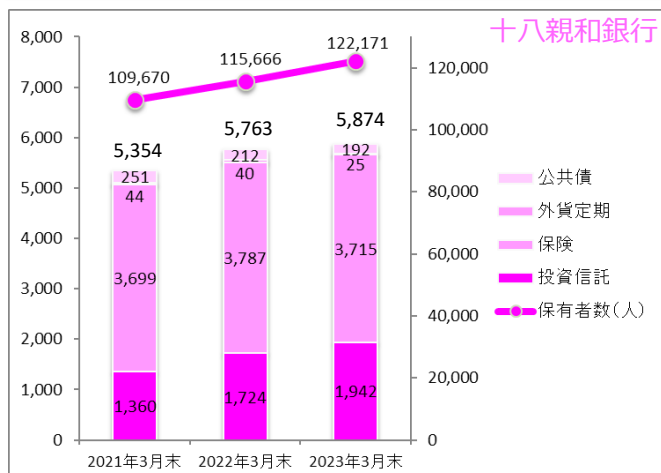
- 商品ご提案にあたっては、お客さまのライフプランや許容できるリスク・運用できる期間などのご意向を十分お尋ねしたうえで、お客さまが期待されるリターンを得ることができるよう、最善のご提案を行います。
- グループ各社にて、より多くのお客さまにご提案を行っており、FFG全体の預金以外の金融商品保有者数は増加しております。

～各資産残高の推移（億円）～



→次ページに続く

【預り資産残高の推移】

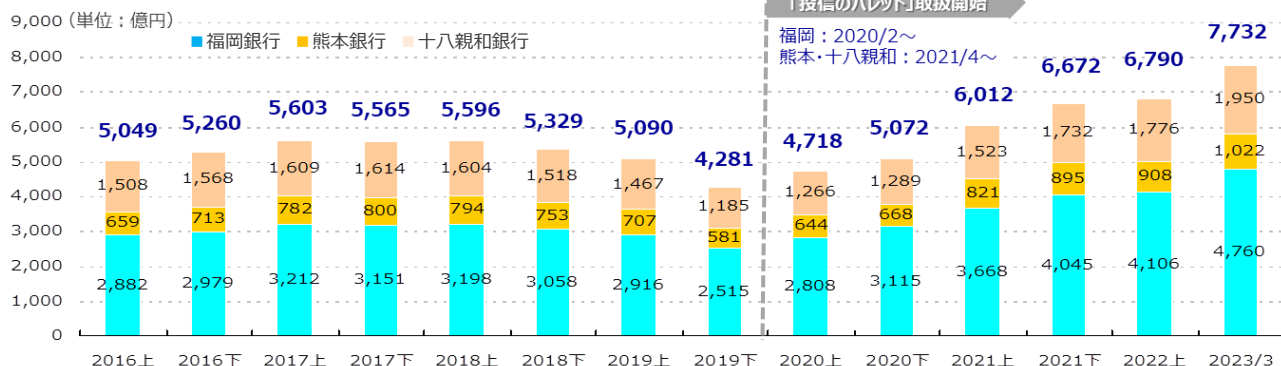


【投資信託残高の推移】

- 預り資産において、私たちが資産形成に資する金融商品としてご案内している投資信託につきましても投信のパレットや積立投資信託を中心に残高は増加しています。

～投資信託残高の推移（億円）～

銀行



【投資信託共通KPI】

銀行

証券

リスク・コストとリターンのバランスがとれた、安定的な運用成果をご享受いただけるよう、お客さまにご提案しております。なお、お客さまが良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を選ぶ上で比較することのできる3つの指標（以下「共通KPI」）を公表します。

● 共通KPIの内容

① 運用損益別顧客比率

- 基準日時点で投資信託を保有しているお客さまについて、保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です（数値については小数点第二位を四捨五入して記載）。この指標により、お客さまの運用損益がどのように分布しているかが分かります。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

③ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

- 設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄毎及び預り残高加重平均のコスト（販売手数料の1/5と信託報酬の合計値）とリターン（過去5年間の基準価額の月次騰落率を年率換算）の関係、リスク（過去5年間の基準価額の月次騰落率のバラツキ）とリターンの関係を示した指標です。
- これらの指標により、中長期的に、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供させていただいたかを見ることができます。

● 共通KPIの定義

内容	定義・算出方法
対象	基準日時点で投資信託を保有している個人のお客さま
基準日	2023年3月末を基準日とする
コスト	販売手数料率（消費税込）の1/5（年率換算）+ 信託報酬率
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）

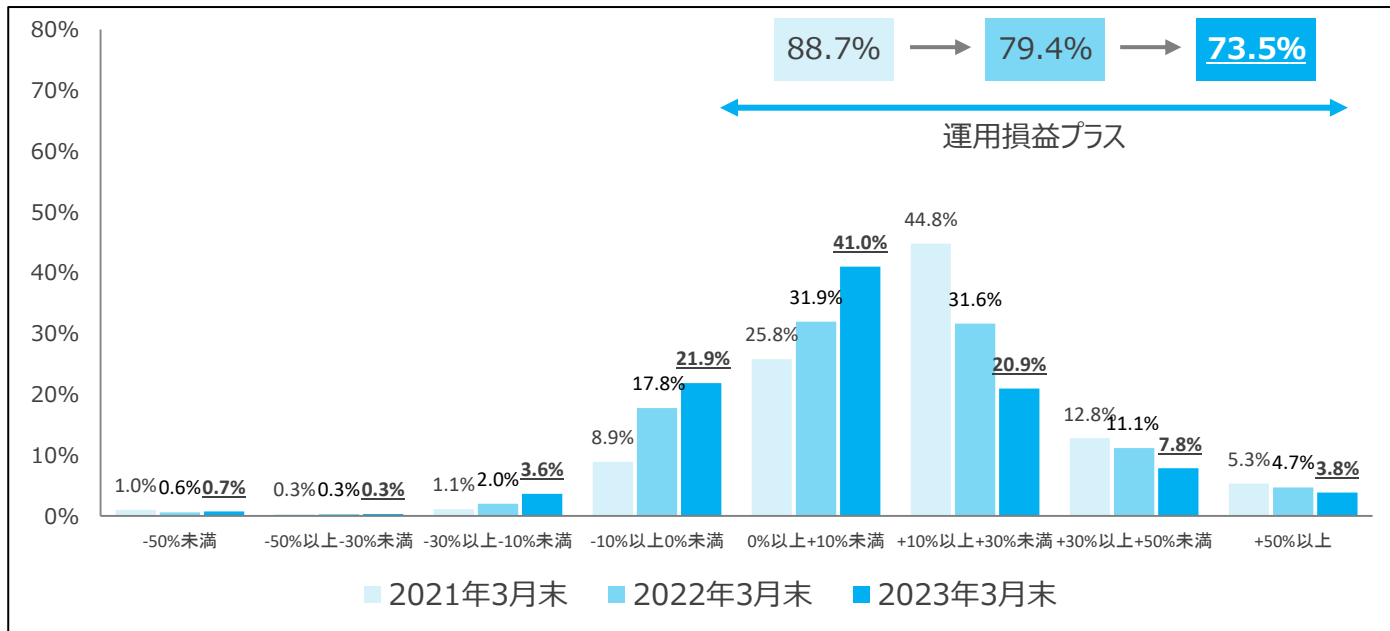
①運用損益別顧客比率 (2021年3月末、2022年3月末、2023年3月末現在)

- 2022年度はロシアによるウクライナ侵攻や原油・穀物価格の上昇の影響も有り、株式市場が下落しました。国内株式・外国株式の商品を中心にパフォーマンスが低下したため、前年に比べ運用損益がプラスのお客さまの割合が減少しました。引き続きお客さまへのフォローアップを徹底するとともに、安定的なリターンをご享受いただけるよう、「投信のパレット」を軸にした資産分散・時間分散による長期的な資産形成をご提案してまいります。

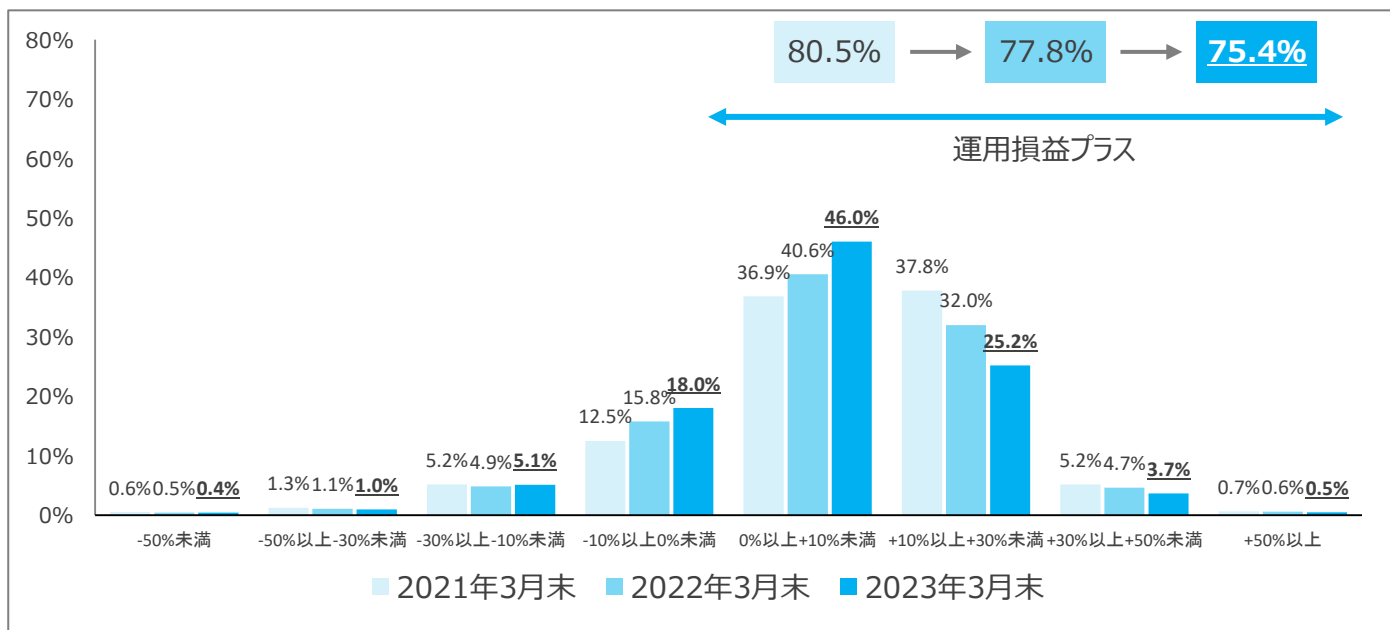
【参考】実現損益を含む運用損益別顧客比率：この指標は売却や償還により基準日時点で投資信託を保有していないお客さまも含めた運用損益別のお客さまの分布を示したものです。

福岡銀行

◆ 運用損益別顧客比率

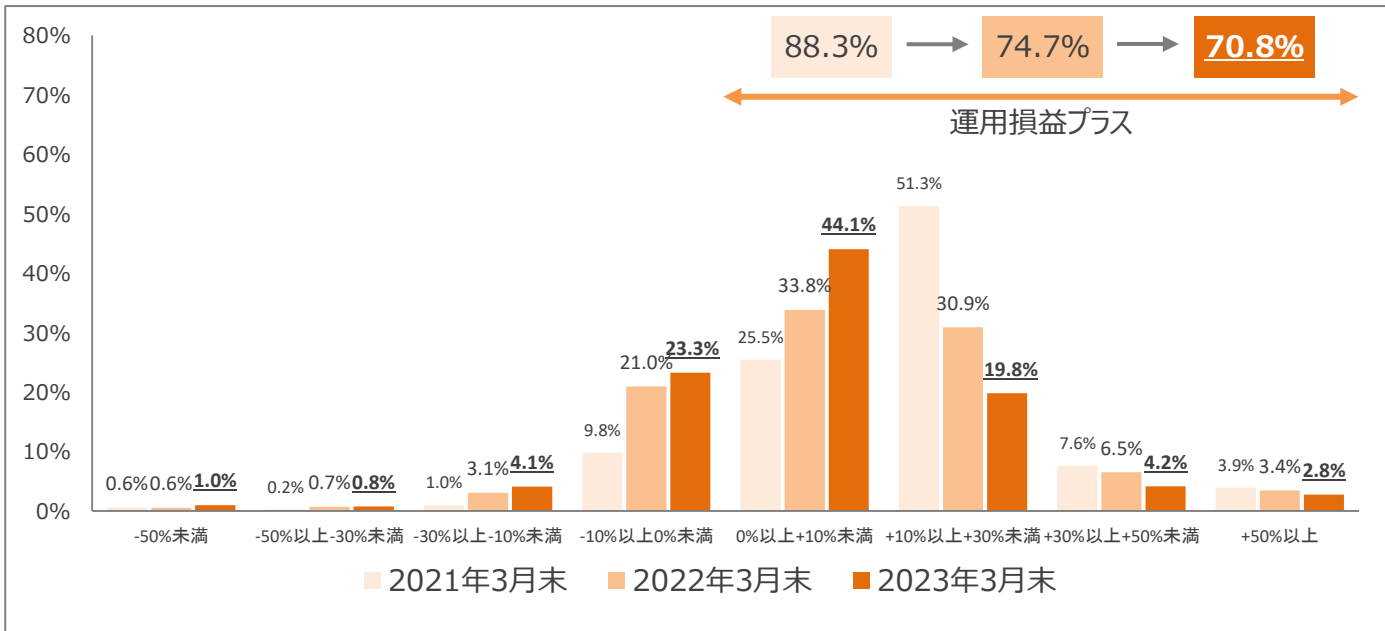


【参考】実現損益を含む運用損益別顧客比率

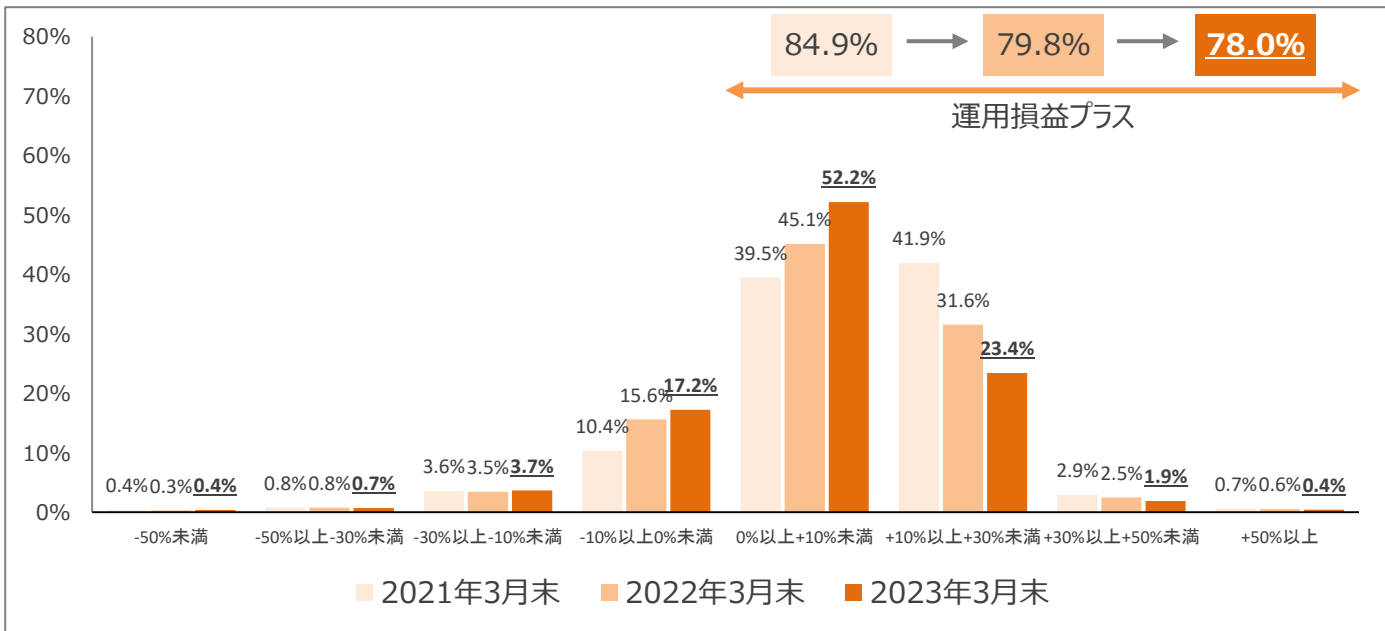


※下線を引いたものが2023年3月末の数値です。

◆ 運用損益別顧客比率



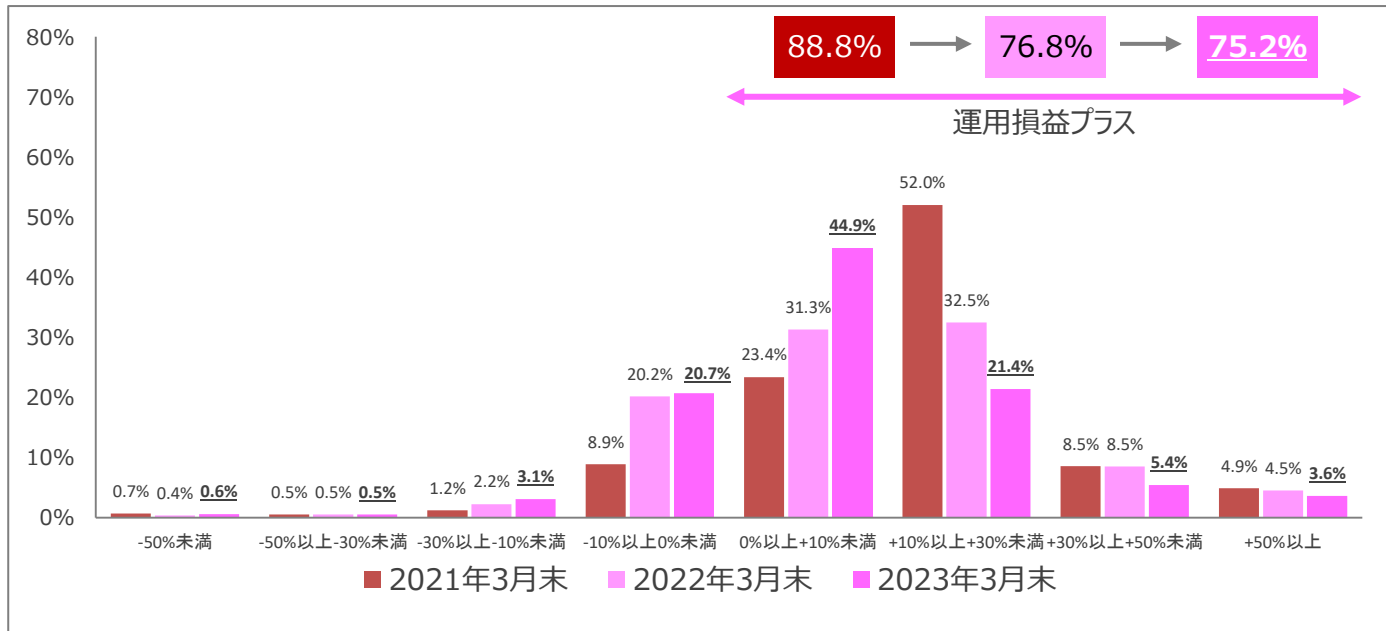
【参考】実現損益を含む運用損益別顧客比率



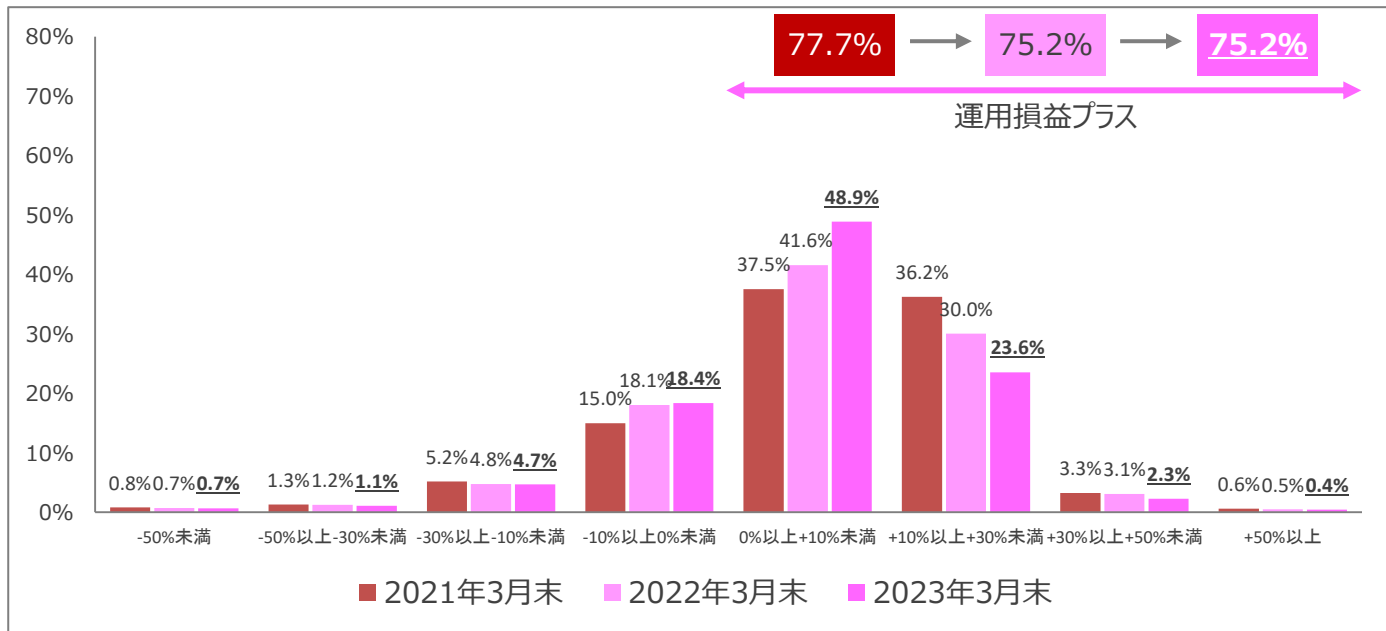
※ 下線を引いたものが2023年3月末の数値です。

十八親和銀行

◆ 運用損益別顧客比率

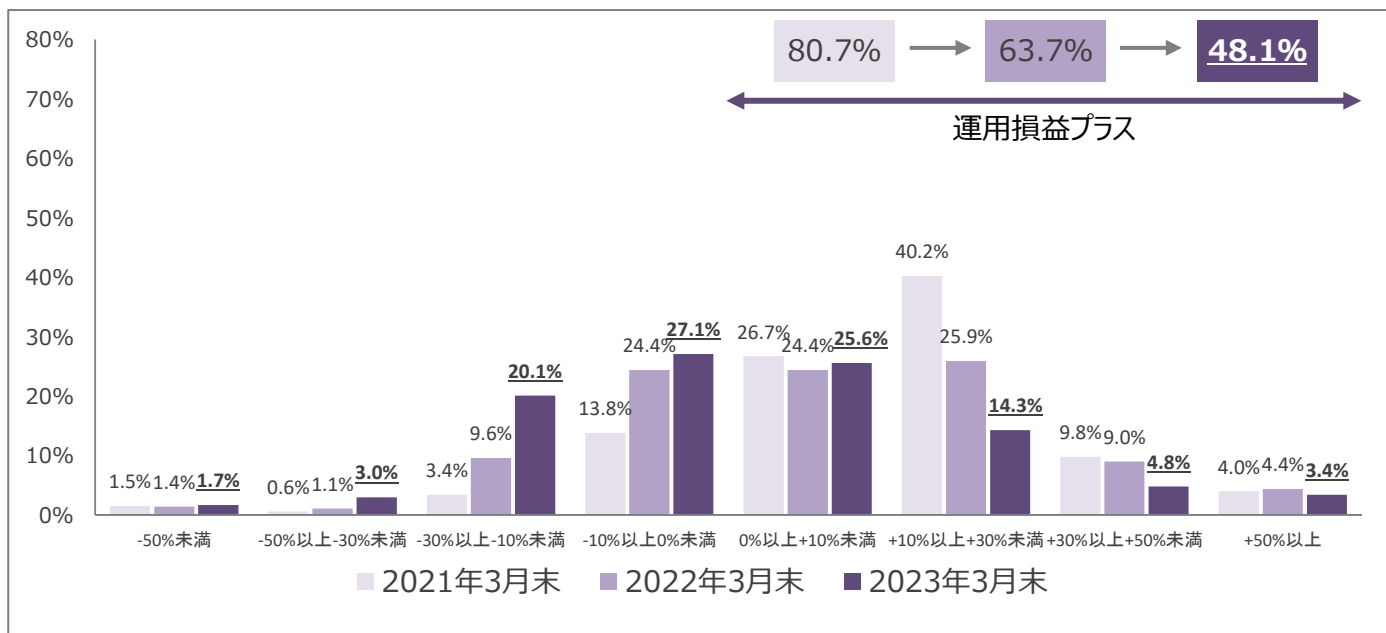


【参考】実現損益を含む運用損益別顧客比率

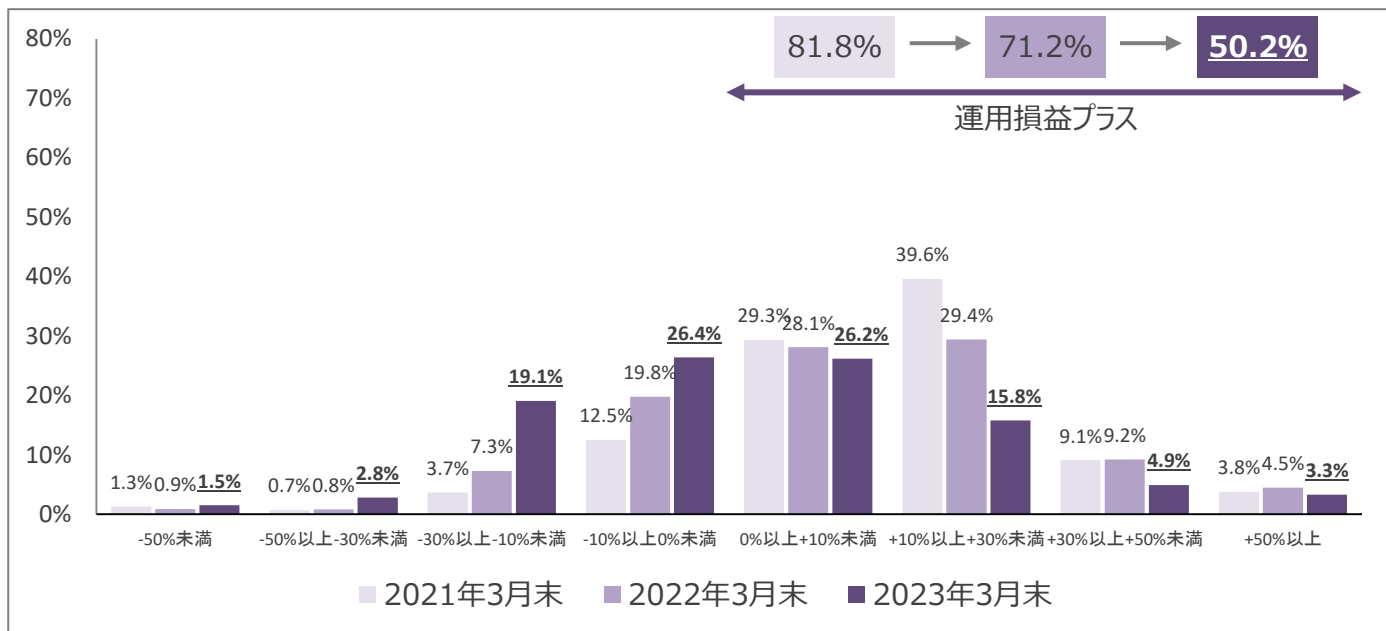


※ 下線を引いたものが2023年3月末の数値です。

◆ 運用損益別顧客比率



【参考】実現損益を含む運用損益別顧客比率



※ 下線を引いたものが2022年3月末の数値です。

②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

③投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

- 本年度は、残高上位20商品のリターン（加重平均ベース）は下落しました。コストおよびリスクに大きな変化はありません。

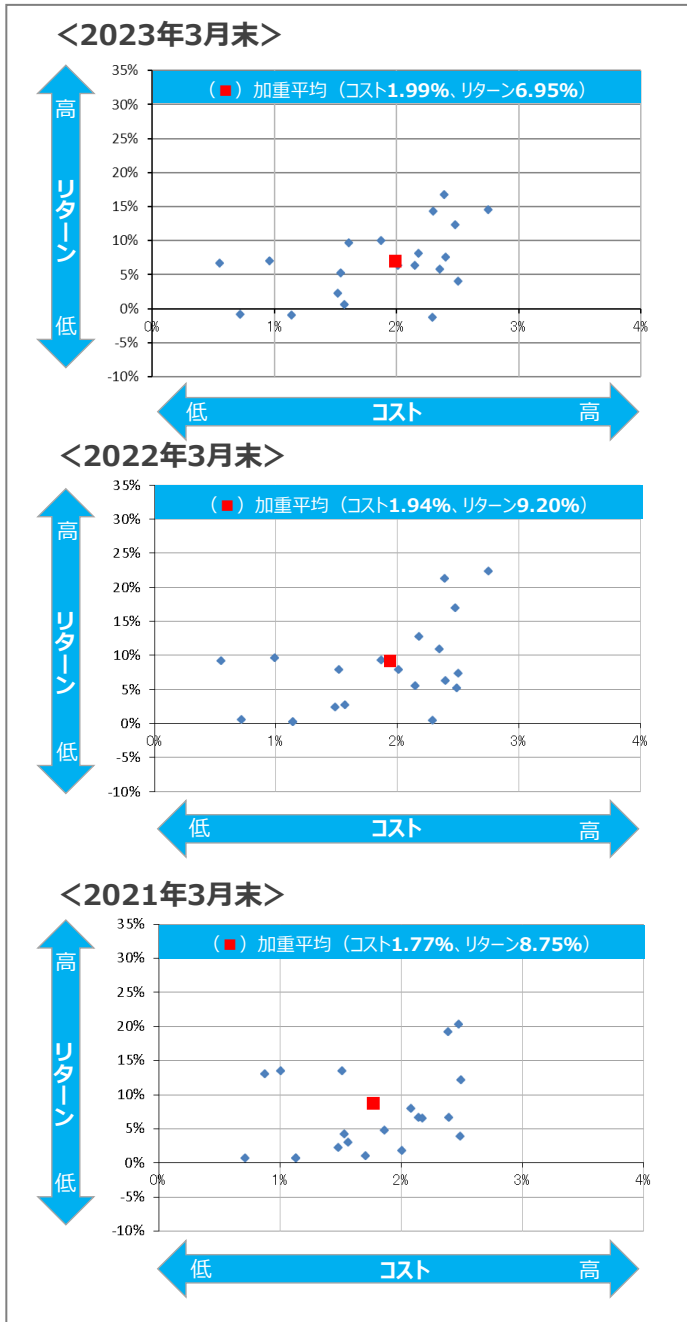
福岡銀行

◆ 投資信託預り残高上位20銘柄（2023年3月末現在）

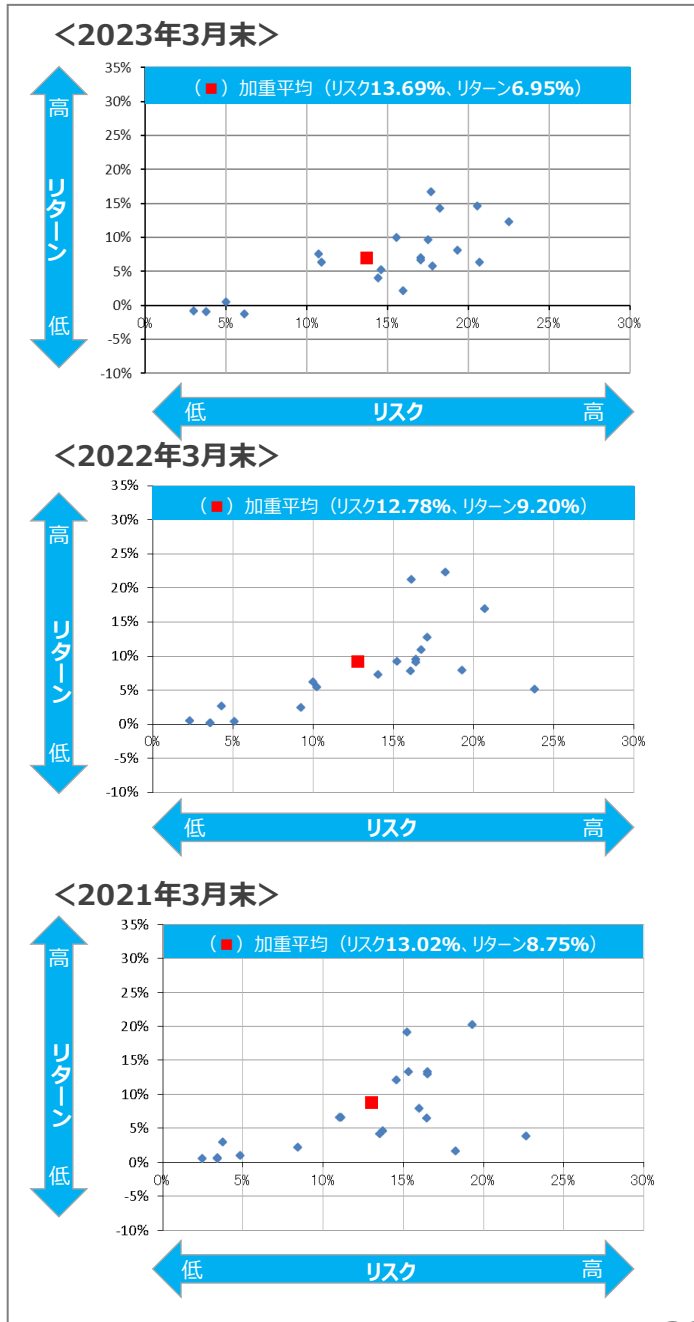
	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バースタイン・米国成長株投資Bコース	2.39%	17.66%	16.79%
2	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	2.29%	6.11%	-1.28%
3	ひふみプラス	1.52%	15.97%	2.23%
4	みずほUSハイールドオープン（年1回決算型）為替ヘッジなし	2.15%	10.89%	6.32%
5	明治安田日本債券ファンド	0.72%	2.96%	-0.81%
6	スパークス・新・国際優良日本株ファンド	2.35%	17.78%	5.78%
7	ストックインテックスファンド225	0.96%	17.05%	7.07%
8	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	1.87%	15.54%	9.97%
9	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	22.52%	12.30%
10	日興キャシコレッチ・ファンド	2.50%	14.39%	4.02%

	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
11	netWIN G Sテクノロジー株式ファンドBコース	2.75%	20.53%	14.60%
12	J-R E I T・リサーチ・オープン（毎月決算型）	1.54%	14.58%	5.25%
13	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）	1.14%	3.76%	-0.90%
14	ゴールドマン・サックス米国R E I TファンドBコース	2.01%	20.70%	6.38%
15	日経225ノーロードオープン	0.55%	17.06%	6.68%
16	フィリテ・米国優良株・ファンド	2.30%	18.21%	14.32%
17	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	1.57%	5.00%	0.57%
18	タイワ・グローバルR E I T・オープン（毎月分配型）	2.18%	19.30%	8.09%
19	フィアリティ・USハイールド・ファンド（毎月決算）	2.40%	10.72%	7.59%
20	ゼン資産形成の達人ファンド	1.61%	17.50%	9.73%
	残高加重平均値(■)	1.99%	13.69%	6.95%

◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



◆ 投資信託預り残高上位20銘柄 (2023年3月末現在)

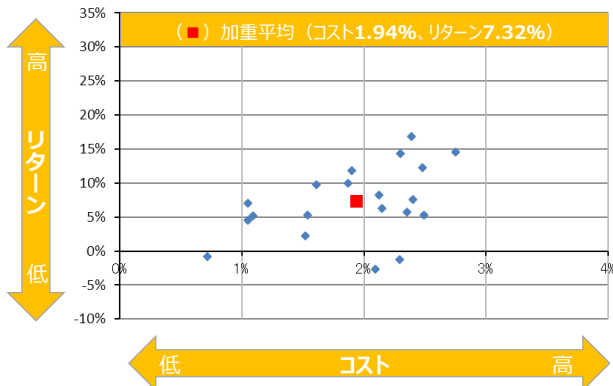
	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・パースタイン・米国成長株投資Bコース	2.39%	17.66%	16.79%
2	ひふみプラス	1.52%	15.97%	2.23%
3	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	2.29%	6.11%	-1.28%
4	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	22.52%	12.30%
5	MHAM株式インデックスファンド225 分配金再投資	1.05%	17.04%	7.02%
6	スパークス・新・国際優良日本株ファンド	2.35%	17.78%	5.78%
7	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	20.73%	5.16%
8	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース	2.75%	20.53%	14.60%
9	みずほUSハイイールドオープン (年1回決算型) 為替ヘッジなし	2.15%	10.89%	6.32%
10	明治安田日本債券ファンド	0.72%	2.96%	-0.81%

	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
11	ビテクグローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	1.87%	15.54%	9.97%
12	MHAM J-R E I Tインデックスファンド (毎月決算型) 受取	1.05%	14.85%	4.48%
13	GS 日本フォーカス・グロース毎月決算コース	2.12%	17.20%	8.19%
14	F T・オーストラリア高配当株ファンド (毎月分配型)	2.49%	24.29%	5.27%
15	フィリピン・米国優良株・ファンド	2.30%	18.21%	14.32%
16	セゾン資産形成の達人ファンド	1.61%	17.50%	9.73%
17	J-R E I T・リサーチ・オープン (毎月決算型)	1.54%	14.58%	5.25%
18	三井住友・けんきょコアライフ・オープン	2.09%	16.50%	-2.62%
19	フィデリティ・USハイイールド・ファンド 自動れいぞく	2.40%	10.72%	7.59%
20	グローバル自動運転関連株株式ファンド (為替ヘッジなし)	1.90%	22.65%	11.87%
残高加重平均値 (■)		1.94%	15.80%	7.32%

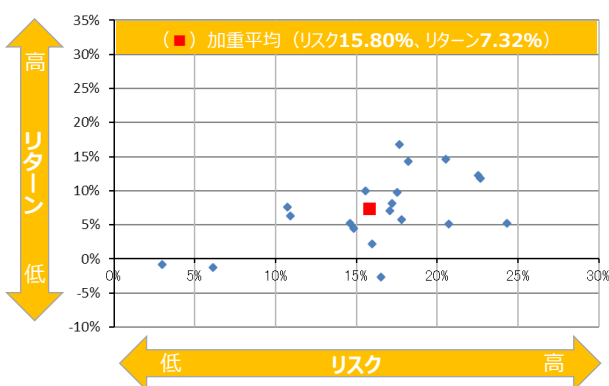
◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

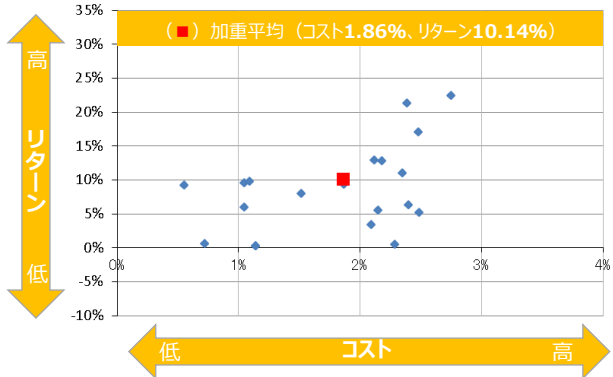
<2023年3月末>



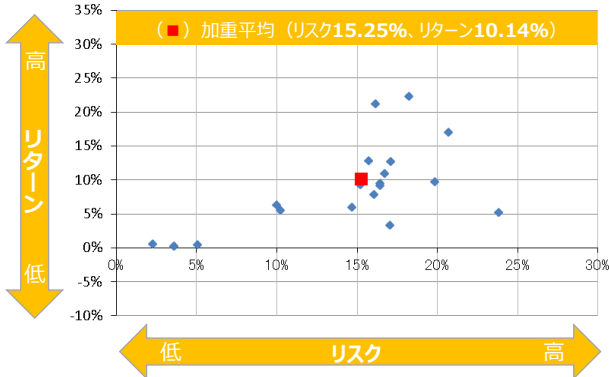
<2023年3月末>



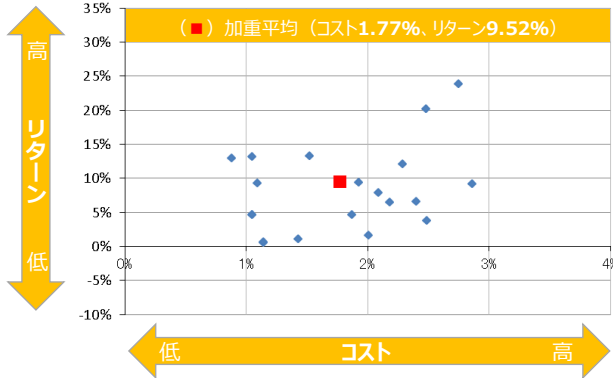
<2022年3月末>



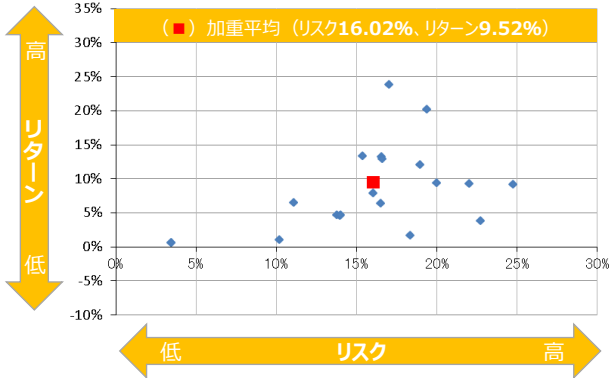
<2022年3月末>



<2021年3月末>



<2021年3月末>



十八親和銀行

◆ 投資信託預り残高上位20銘柄 (2023年3月末現在)

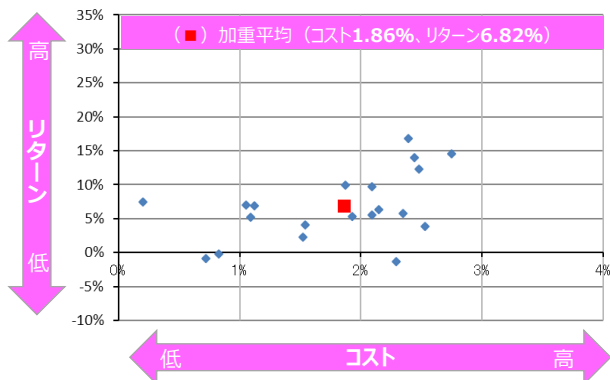
	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投資Bコース	2.39%	17.66%	16.79%
2	野村P I M C O・世界インカム戦略ファンドAコース	2.29%	6.11%	-1.28%
3	ひふみプラス	1.52%	15.97%	2.23%
4	M H A M株式会社インテックスファンド2 2 5 一般コース	1.05%	17.04%	7.02%
5	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	1.87%	15.54%	9.97%
6	明治安田日本債券ファンド	0.72%	2.96%	-0.81%
7	スパークス・新・国際優良日本株ファンド	2.35%	17.78%	5.78%
8	みずほU Sハイイールドオープン (年1回決算型) 為替ヘッジなし	2.15%	10.89%	6.32%
9	ワールド・リット・セレクション (米国) (愛称: 十二絵巻)	2.09%	17.60%	9.73%
10	成長応援日本株ファンド	2.53%	22.15%	3.89%

	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
11	ワールド・リット・セレクション (アジア)	2.09%	16.44%	5.58%
12	グローバル・セキュリティ株式ファンド (3ヵ月決算型)	2.44%	19.19%	13.94%
13	ニッセイ J - R E I Tファンド (毎月決算型)	1.54%	14.35%	4.08%
14	株式インテックス2 2 5	1.12%	17.04%	6.93%
15	ビクテ新興国インカム株式ファンド (毎月決算型)	0.83%	2.33%	-0.16%
16	<つみたてN I S A用> つみたて日本株式 (日経平均)	0.20%	17.06%	7.43%
17	ピクテ新興国インカム株式ファンド (毎月決算型)	1.93%	19.70%	5.35%
18	トヨタグループ株式ファンド	1.09%	20.73%	5.16%
19	n e t W I N G Sテクノロジー株式ファンドBコース	2.75%	20.53%	14.60%
20	ロボット・テクノロジー関連株ファンド	2.48%	22.52%	12.30%
残高加重平均値 (■)		1.86%	14.69%	6.82%

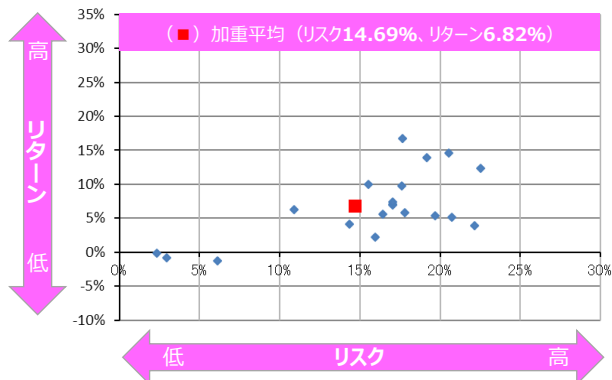
◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

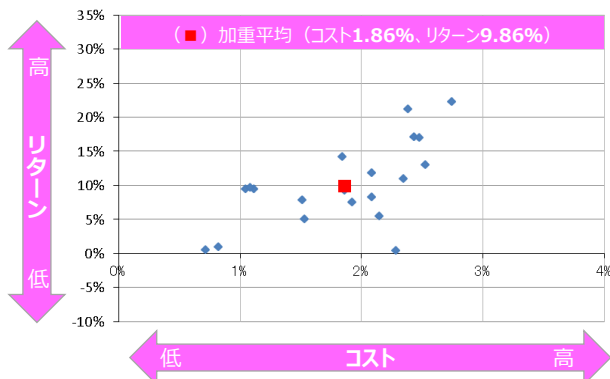
<2023年3月末>



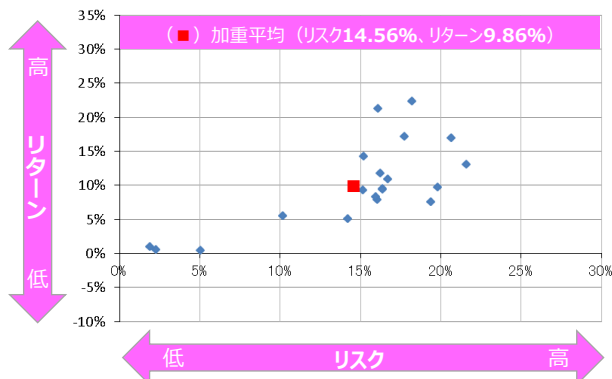
<2023年3月末>



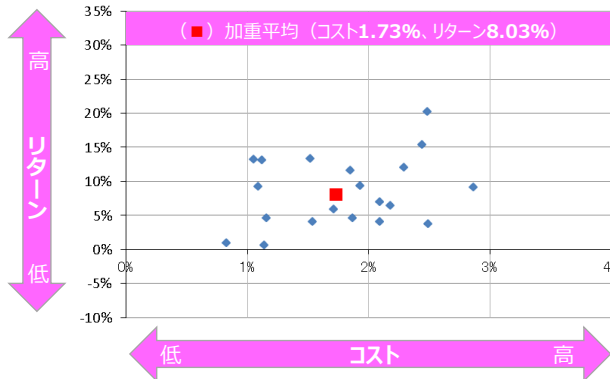
<2022年3月末>



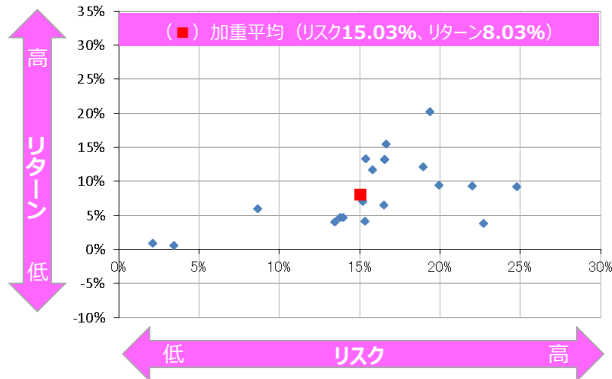
<2022年3月末>



<2021年3月末>



<2021年3月末>



◆ 投資信託預り残高上位20銘柄 (2023年3月末現在)

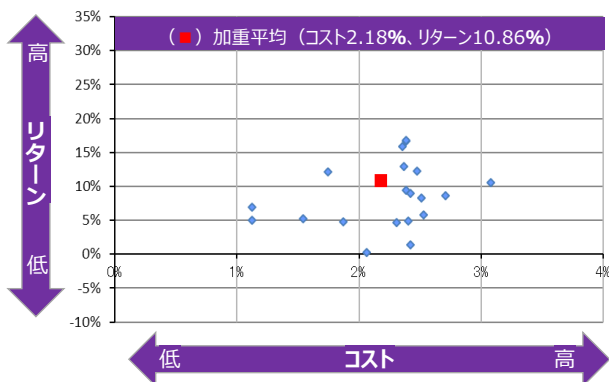
順位	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Dコース	2.39%	17.41%	16.69%
2	J-R-E-I-T・リサーチ・オープン (毎月決算型)	1.54%	14.58%	5.25%
3	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	2.51%	21.54%	8.24%
4	アライアンス・バースタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ (年2回決算型)	2.37%	18.31%	12.91%
5	株式インデックス 225	1.12%	17.04%	6.93%
6	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Bコース	2.39%	17.51%	16.79%
7	アライアンス・バースタイン・米国成長株投信 Cコース	2.39%	18.01%	9.40%
8	MHAM新興成長株オープン	2.31%	24.55%	4.67%
9	JPMベスト・インカム (毎月決算型)	2.06%	10.23%	0.21%
10	高成長インド・中型株式ファンド	2.71%	25.28%	8.62%

順位	ファンド名称	コスト	リスク	リターン
11	米国NASDAQオープン Bコース	2.35%	19.08%	15.82%
12	好配当ジャパン・オープン	1.87%	16.00%	4.80%
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	16.30%	10.59%
14	高利回り社債オープン (毎月分配型)	2.53%	10.39%	5.77%
15	野村インド債券ファンド (毎月分配型)	2.40%	9.93%	4.92%
16	世界eコマース関連株オープン	2.42%	21.82%	8.95%
17	日本株225・米ドルコース	1.75%	19.60%	12.10%
18	ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック	2.48%	22.52%	12.30%
19	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	2.42%	18.29%	1.42%
20	トピックス・インデックス・オープン	1.12%	15.07%	4.97%
残高加重平均値 (■)		2.18%	17.44%	10.86%

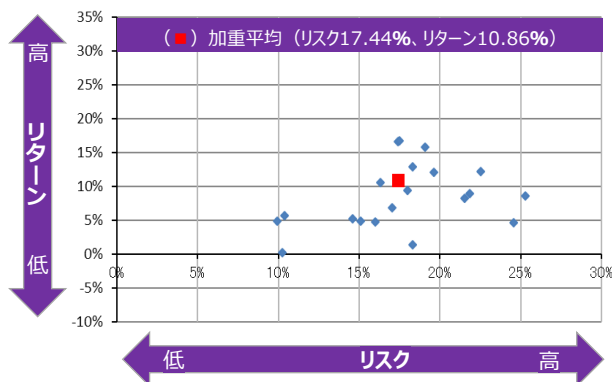
◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

◆ 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

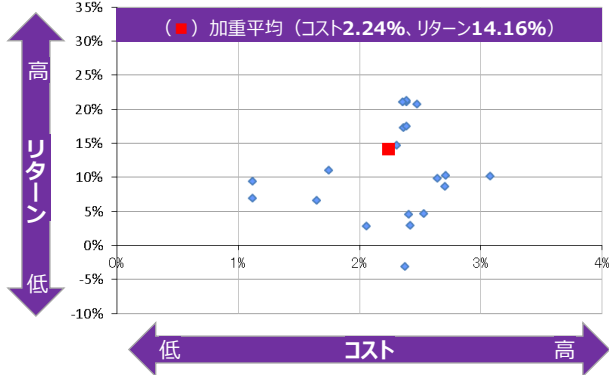
<2023年3月末>



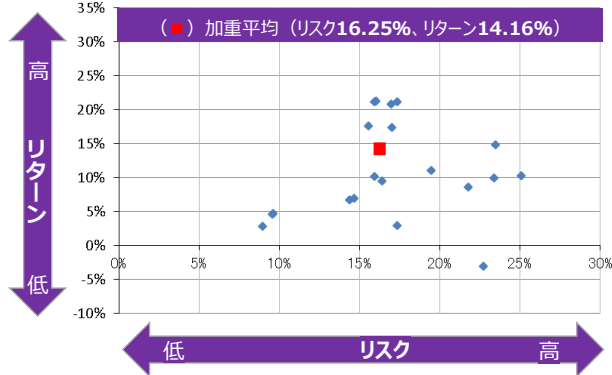
<2023年3月末>



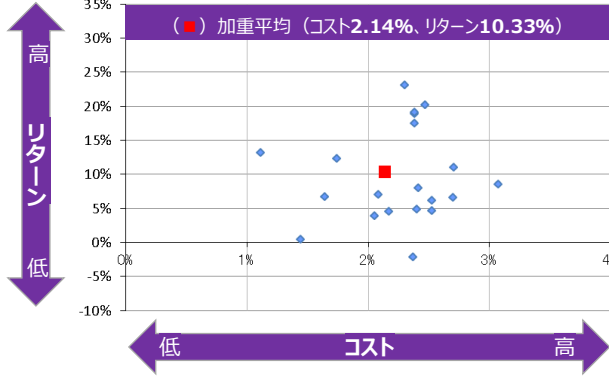
<2022年3月末>



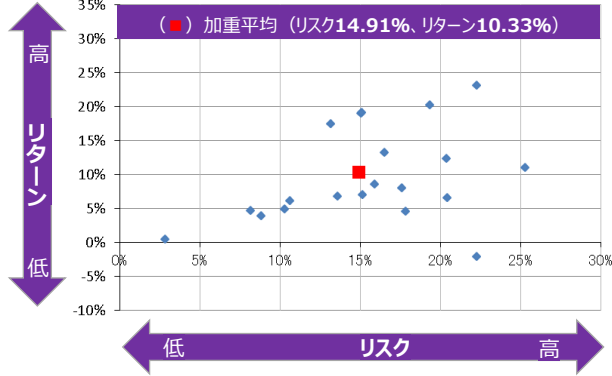
<2022年3月末>



<2021年3月末>



<2021年3月末>



【外貨建保険共通KPI】

銀行

コストとリターンのバランスがとれた、安定的な運用成果をご享受いただけるようお客さまに提案しております。なお、お客さまが良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を選ぶ上で比較することのできる2つの指標（以下「共通KPI」）を公表します。

◆ 共通KPIの内容

① 運用評価別顧客比率

基準日時点で外貨建一時払保険商品を保有しているお客さまについて、契約ごとの評価損益を算出し、運用評価別にお客さまの比率を示した指標です（数値については小数点第二位を四捨五入して記載）。この指標により、お客さまの運用評価がどのように分布しているかが分かります（※）。

② 銘柄別コスト・リターン

保険契約開始から5年以上で残高（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額の合計額）の上位20銘柄について、銘柄毎及び基準日時点の加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。これらの指標により、長期的に、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供させていただいたかを見ることができます。

◆ 共通KPIの定義

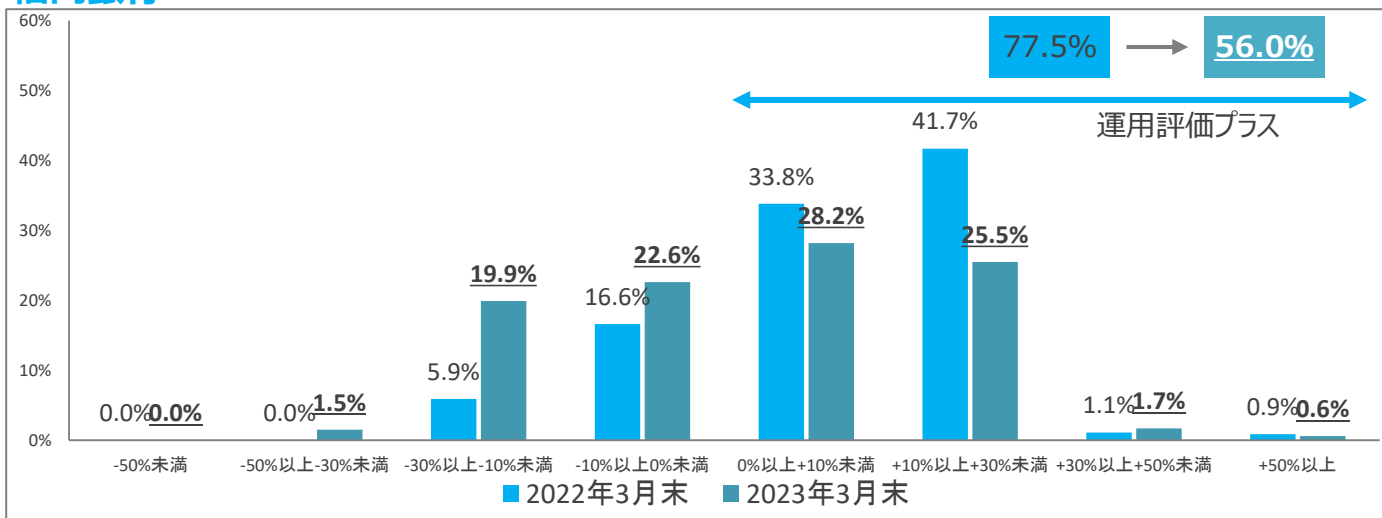
内容	定義・算出方法
対象	基準日時点で外貨建一時払保険商品を保有しているお客さま
基準日	2023年3月末を基準日とする
コスト	①各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料率を基準日までの契約期間で除したものと年間の継続手数料率を使用し算出 なお、手数料率は、保険会社における当該銘柄の保有全契約のうち、保険契約開始から5年以上経過した契約（基準日時点で有効のもの）を対象に、当該銘柄を組成する保険会社にて算出される、各契約に適用されている新契約手数料率及び継続手数料率を各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均した値を使用 ②各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均
リターン	①各契約のリターン率について、 $(\text{基準日時点の解約返戻金額} + \text{同 既支払金額}) \div (\text{契約時点の一時払保険料}) - 1$ を年率換算 ②各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均

- ✓ 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。
- ✓ 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

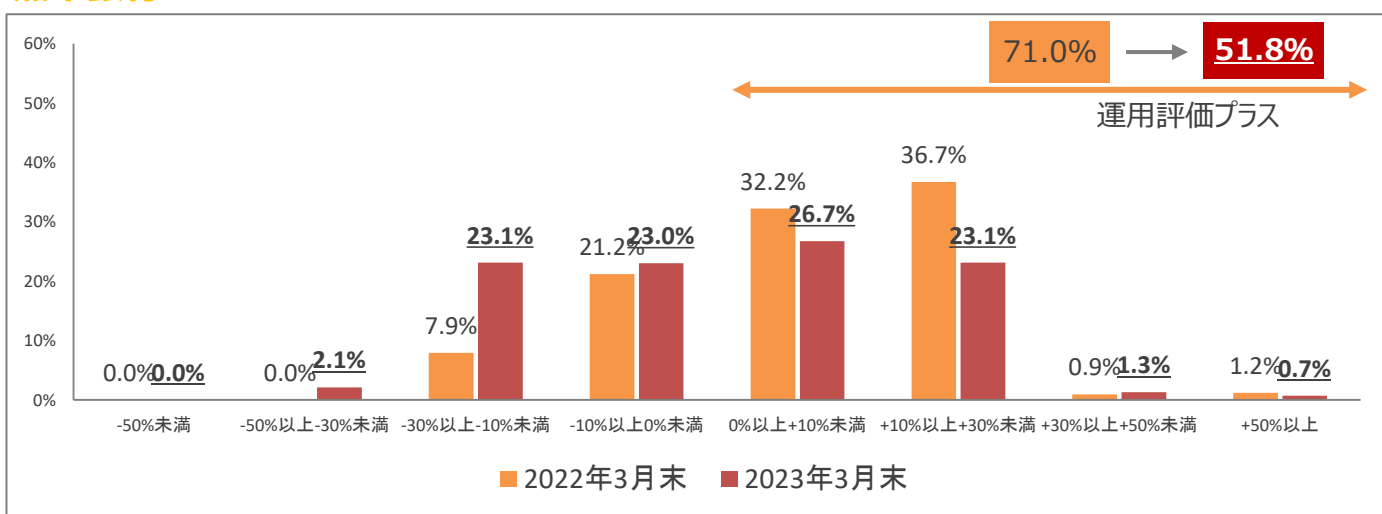
①運用評価別顧客比率（2022年3月末、2023年3月末現在）

- 2022年度は、為替相場が円安に推移したことを受け、運用目標額に到達した契約等の解約が増加したことにより、前年に比べ運用損益がプラスのお客さまの割合が減少しました。

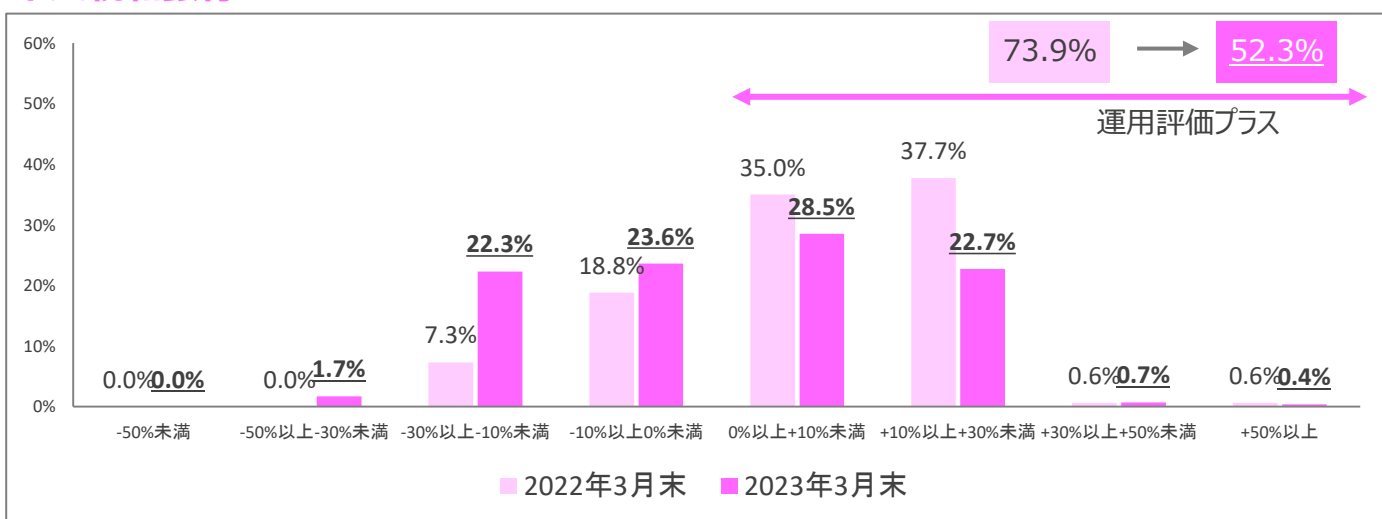
福岡銀行



熊本銀行



十八親和銀行



②銘柄別コスト・リターン

- 2022年度は、為替相場が円安に推移したことを受け、運用目標額に到達した契約等の解約が増加したことにより、残高上位20商品のリターン（加重平均ベース）は下落しました。コストに大きな変化はありません。

福岡銀行

◆ 外貨建て保険の残高上位20銘柄

<2023年3月末現在>

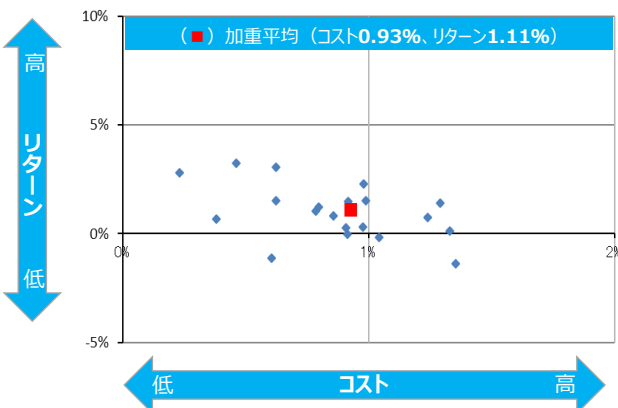
	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアシップ（外貨建）	0.79%	1.05%
2	エブリバディプラス	1.29%	1.41%
3	しあわせ、ずっと	0.86%	0.84%
4	やさしさ、つなぐ	0.60%	-1.11%
5	ふるはーとJロードグローバル	0.98%	2.30%
6	ロングドリームGOLD	0.80%	1.24%
7	ファイブ・ステップUS	0.46%	3.25%
8	プレミアジャンプ	0.91%	-0.03%
9	プレミアプレゼント	0.92%	1.48%
10	到達力V3	1.36%	-1.37%
11	未来につなげる終身保険	1.24%	0.75%
12	夢のプレゼント	0.62%	1.52%
13	えがお、ひろがる	1.04%	-0.15%
14	プレミアカレンシー・プラス2	0.99%	1.51%
15	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	0.98%	0.32%
16	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	1.33%	0.14%
17	デュアルドリーム	0.91%	0.27%
18	アテナ	0.23%	2.79%
19	三大陸	0.38%	0.67%
20	ピクトリーショット	0.62%	3.08%
	残高加重平均値(■)	0.93%	1.11%

<2022年3月末現在>

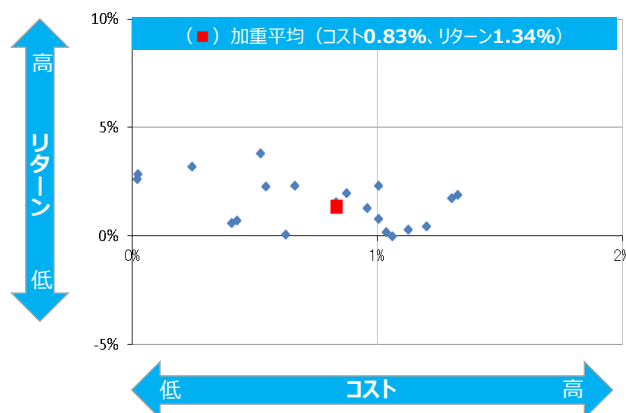
	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアシップ（外貨建）	0.83%	1.55%
2	プレミアジャンプ	1.04%	0.15%
3	ファイブ・ステップUS	0.55%	2.26%
4	しあわせ、ずっと	0.96%	1.27%
5	やさしさ、つなぐ	0.63%	0.05%
6	ロングドリームGOLD	0.87%	1.98%
7	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	1.13%	0.28%
8	えがお、ひろがる	1.20%	0.44%
9	未来につなげる終身保険	1.33%	1.89%
10	アテナ	0.24%	3.19%
11	三大陸	0.41%	0.59%
12	到達力V3	1.06%	-0.05%
13	プレミアカレンシー・プラス	0.66%	2.32%
14	シリウスデュアル	0.02%	2.83%
15	ビー・ウィズ・ユー	1.01%	0.78%
16	アップサイドプラス	1.30%	1.72%
17	みらい、そだてる	0.43%	0.71%
18	シリウスプラス	0.02%	2.62%
19	ビー・ウィズ・ユー・プラス	1.01%	2.31%
20	ライフロング・セレクトPG	0.52%	3.81%
	残高加重平均値(■)	0.83%	1.34%

◆ 上位20銘柄のコスト・リターン

<2023年3月末>



<2022年3月末>



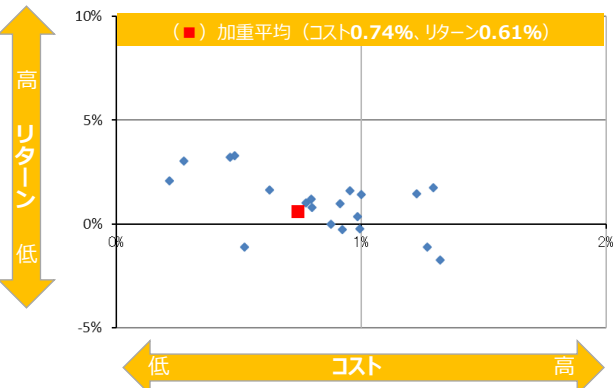
◆ 外貨建て保険の残高上位20銘柄

<2023年3月末現在>

	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ (外貨建)	0.77%	1.01%
2	やさしさ、つなぐ	0.52%	-1.11%
3	しあわせ、ずっと	0.80%	0.80%
4	プレミアジャンプ	0.92%	-0.28%
5	ロングドリームGOLD	0.79%	1.19%
6	アテナ	0.27%	3.05%
7	ファイブ・ステップUS	0.46%	3.23%
8	夢のプレゼント	0.63%	1.65%
9	到達力V3	1.32%	-1.74%
10	プレミアプレゼント	0.91%	0.98%
11	えがお、ひろがる	0.99%	-0.25%
12	M y 年金外貨	0.48%	3.27%
13	プレミアジャンプ・年金 (外貨建)	0.98%	0.36%
14	未来につなげる終身保険	1.29%	1.75%
15	生プレワールド4	0.95%	1.59%
16	プレミアカレンシー・プラス2	1.00%	1.42%
17	アテナ2	0.22%	2.08%
18	エブリバディプラス	1.23%	1.47%
19	定付変額終身保険	1.27%	-1.12%
20	デュアルドリーム	0.88%	0.01%
	残高加重平均値(■)	0.74%	0.61%

◆ 上位20銘柄のコスト・リターン

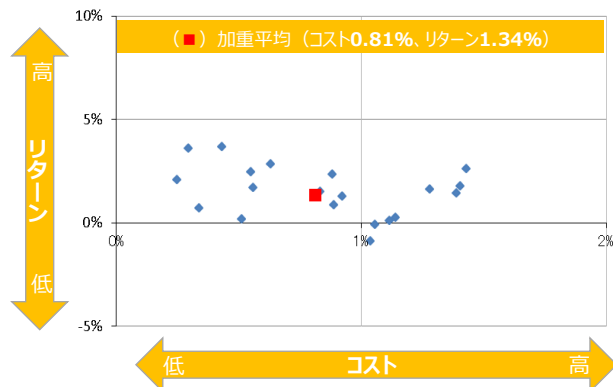
<2023年3月末>



<2022年3月末現在>

	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ (外貨建)	0.83%	1.53%
2	しあわせ、ずっと	0.92%	1.28%
3	プレミアジャンプ	1.06%	-0.10%
4	やさしさ、つなぐ	0.51%	0.18%
5	アテナ	0.29%	3.59%
6	ファイブ・ステップUS	0.55%	2.47%
7	プレミアジャンプ・年金 (外貨建)	1.14%	0.25%
8	えがお、ひろがる	1.11%	0.10%
9	ロングドリームGOLD	0.88%	2.35%
10	アテナ2	0.25%	2.09%
11	到達力V3	1.04%	-0.87%
12	みらい、そだてる	0.34%	0.70%
13	ピー・ウイズ・ユー	0.89%	0.87%
14	アップサイドプラス	1.40%	1.78%
15	ライフロング・グランデP G	0.43%	3.67%
16	プレミアレシーブ	0.56%	1.70%
17	未来につなげる終身保険	1.28%	1.62%
18	プレミアカレンシー・プラス	0.63%	2.83%
19	プレミアジャンプ2・終身 (外貨建)	1.39%	1.43%
20	デュアルドリーム	1.43%	2.61%
	残高加重平均値(■)	0.81%	1.34%

<2022年3月末>



十八親和銀行

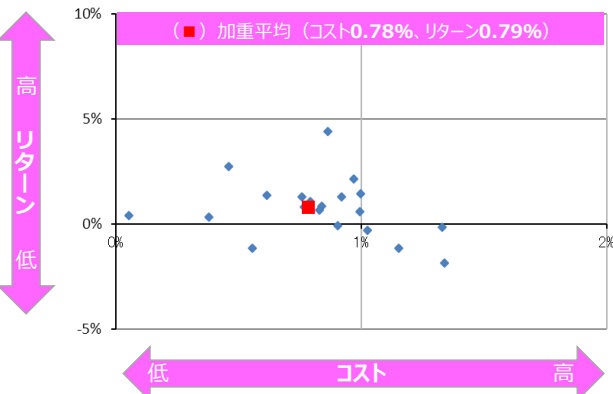
◆ 外貨建て保険の残高上位20銘柄

<2023年3月末現在>

銘柄名	コスト	リターン
1 エブリバディプラス	0.79%	1.07%
2 プレミアレシーブ (外貨建)	0.76%	0.82%
3 やさしさ、つなぐ	0.56%	-1.16%
4 しあわせ、ずっと	0.84%	0.84%
5 プレミアジャンプ	0.90%	-0.08%
6 ふるはーとJロードグローバル	0.97%	2.12%
7 ロングドリームGOLD	0.76%	1.30%
8 えがお、ひろがる	1.02%	-0.31%
9 ファイブ・ステップUS	0.46%	2.74%
10 プレミアジャンプ・年金 (外貨建)	0.99%	0.57%
11 到達力V3	1.34%	-1.85%
12 夢のプレゼント	0.61%	1.36%
13 三大陸	0.05%	0.39%
14 プレミアプレゼント	0.92%	1.30%
15 ロングドリーム	0.38%	0.32%
16 プレミアジャンプ3・年金 (外貨建)	1.33%	-0.15%
17 ビー・ウィズ・ユー・プラス	1.15%	-1.18%
18 サニーガーデンEX	0.86%	4.41%
19 ビー・ウィズ・ユー (豪ドル建)	0.83%	0.66%
20 プレミアカレンシー・プラス2	0.99%	1.43%
残高加重平均値 (■)	0.78%	0.79%

◆ 上位20銘柄のコスト・リターン

<2023年3月末>



<2022年3月末現在>

銘柄名	コスト	リターン
1 プレミアレシーブ (外貨建)	0.80%	1.33%
2 プレミアジャンプ	1.02%	0.18%
3 しあわせ、ずっと	0.91%	1.17%
4 やさしさ、つなぐ	0.60%	0.00%
5 ファイブ・ステップUS	0.54%	1.62%
6 プレミアジャンプ・年金 (外貨建)	1.14%	0.60%
7 えがお、ひろがる	1.17%	0.36%
8 三大陸	0.50%	0.41%
9 ロングドリームGOLD	0.92%	2.13%
10 ビー・ウィズ・ユー	0.91%	1.21%
11 アテナ	0.30%	3.40%
12 到達力V3	1.02%	-0.57%
13 プレミアレシーブ	0.56%	1.69%
14 ビー・ウィズ・ユー・プラス	1.01%	2.73%
15 アテナ2	0.37%	2.34%
16 シリウスステュアル	0.02%	2.72%
17 未来につなげる終身保険	1.28%	1.53%
18 プレミアストーリー	0.00%	1.76%
19 プレミアジャンプ2・年金 (外貨建)	1.34%	1.91%
20 プレミアカレンシー・プラス	0.68%	2.44%
残高加重平均値 (■)	0.83%	1.08%

<2022年3月末>

